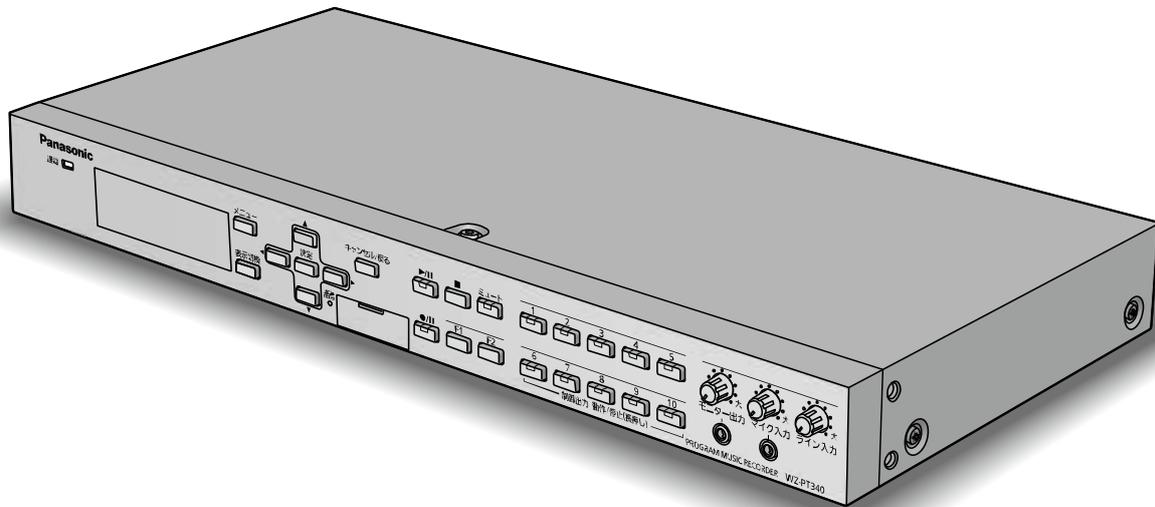


Panasonic®

取扱説明書

プログラム IC レコーダー 設定支援ソフト
品番 **WZ-PT340**



はじめに

機能概要

設定支援ソフト（以下、本ソフトウェア）は、プログラム IC レコーダー（WZ-PT340 以下、本体）の各種設定や操作をパーソナルコンピュータ（以下、PC）から SD メモリーカードやネットワーク接続を経由して行うためのソフトウェアです。

本ソフトウェアで作成したデータは、SD メモリーカードに保存して本体で使用できます。

取扱説明書について

- 本書はプログラム IC レコーダー（WZ-PT340）用設定支援ソフトの操作方法について記載しています。本体の機能に関する内容は、商品同梱の取扱説明書をお読みください。
- ネットワークに関する設定は、接続する社内 LAN やサービスプロバイダーの設定により異なる場合があります。ネットワークに関する設定について詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本書では Microsoft® Windows® 7 Professional をご使用の場合を例に説明しています。ほかの OS をご使用の場合や OS の設定によっては、画面表示が異なる場合があります。その他の OS をご使用の場合、該当する OS の取扱説明書をお読みください。
- ソフトウェアのバージョン情報など本書中に示す画面図は表示例であり、実際のものとは異なる場合があります。

必要な PC の環境

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つ PC で使用できます。

OS*1	Microsoft® Windows® 10 Pro 日本語版 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 日本語版*2 Microsoft® Windows® 7 Professional 日本語版
CPU	上記 OS および Microsoft® .NET Framework 4.5.1 で推奨されている CPU を搭載している PC であること
メモリー	上記 OS および Microsoft® .NET Framework 4.5.1 で推奨されているメモリーを搭載している PC であること
ハードディスク容量	本ソフトウェアのインストール用として 100 MB の容量が必要です。 本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft® .NET Framework 4.5.1 が必要です。 インストールされていない場合は、別途 Framework 4.5.1 をインストールする空き容量が必要です。
画面	1024 x 768 ピクセル以上の解像度
インターフェース	10/100 Mbps のネットワークポートを有すること SD カードスロット

メモ

- 本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft® .NET Framework 4.5.1 以上 が必要です。
-

登録商標・商標について

SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

Adobe、Acrobat Reader および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Internet Explorer、ActiveX および DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional 日本語版を Windows 7 と表記しています。
- SDHC メモリーカード、SD メモリーカードを SD カードと表記しています。
- パーソナルコンピュータを PC と表記しています。
- プログラム IC レコーダー (WZ-PT340) を本体と表記しています。

著作権のある音楽の利用手続きについて

- 店舗などで CD やテープなどの録音物から著作権のある音楽を「BGM (店内放送)」として利用する場合は、社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC) とご契約いただき、使用料のお支払いが必要となります。
- JASRAC と契約している音源提供事業者から供給を受ける音楽については、個別にご契約いただく必要はありません。詳しい内容については、音源提供事業者におたずねください。
- 福祉施設・病院・教育機関での利用、事務所・工場などでの主として従業員を対象とした利用については当分の間、使用料が免除されています (著作権法第 38 条第 1 項により)。詳しい内容については、JASRAC 本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

はじめに

用語について

プログラムタイマー機能

内蔵の時計・カレンダーの機能により、プログラムを作成し、決められた時刻にチャイム放送を行うなど、時刻に連動した放送管理を行う機能です。

ステップ

内蔵音源やSDメッセージの再生、外部機器の起動を行うための開始時刻、終了時刻の1組をステップと言います。

プログラム

ステップを複数合わせて作る1日分(24時間)のデータです。最大999個のステップを1つのプログラムに設定することができます。また、プログラムは最大24個作成することができます。プログラムは、曜日ごとまたは、年間のカレンダーに割り当てることができます。例えば、平日用、休日用などを用意することで週間または年間を通して自動で放送運用ができます。

週間スケジュール

24個のプログラムを日曜日から土曜日まで、7つの曜日ごとに設定することができます。

祝日スケジュール

24個のプログラムを祝日に割り当てることができます。祝日は追加・編集・削除を行うことができます。

年間スケジュール

24個のプログラムを年間のカレンダーに設定することができます。本ソフトウェアで設定可能な範囲は、今日(設定当日)から2050年までです。

日付変更時刻機能

前日のスケジュールに割り当てられた内容が今日のプログラムに切り換わる時刻を「日付変更時刻」と呼びます。初期値は00:00:00(午前0時)ですが、運用形態に合わせて、時刻を変更することができます。

内蔵音源

本体に内蔵されている8つの音源を指します。8つの音源は、外部制御入力に割り当てることができ、外部制御入力にメイク信号を入力すると該当する音源が再生されます。

SDメッセージ

SDカード(別売品)に収録した音源データを指します。ユーザーが録音した音源データに、名称、繰り返し再生などといったパラメーターを設定することも可能です。

プレイリスト

SDカードに収録された複数のSDメッセージを組み合わせて再生することができます。

外部制御入力

外部機器からのメイク信号により、あらかじめ設定した内蔵音源、SDカードに収録された音源を再生することができます。

制御出力

プログラムタイマー機能により、設定した時刻にメイク信号を出力し、外部音源機器などの起動を行うことができます。

ライブラリー

設定支援ソフトで使用する音源ファイルを保存するフォルダーです。PC内の音源ファイルをSDメッセージに登録する場合は、事前に音源ファイルをライブラリーに登録する必要があります。

もくじ

はじめに

機能概要	2
取扱説明書について	2
必要な PC の環境	2
登録商標・商標について	3
著作権について	3
略称について	3
著作権のある音楽の利用手続きについて	3
用語について	4
もくじ	5

基本操作

インストール・アンインストール	7
■ インストールのしかた	7
■ アンインストールのしかた	7
起動と終了	8
■ 起動のしかた	8
■ 終了のしかた	8
■ メインメニューについて	9
設定データについて	10
■ 設定について	10
■ 本体で扱うファイルについて	11
◆ SD カードフォルダー構成とファイル	11
■ 本体とのデータ受け渡し	12
◆ SD カードを介する方法	12
◆ ネットワークを介する方法	12

環境設定

環境設定	13
■ データフォルダーについて	13
■ 環境設定画面について	14
◆ 環境設定のしかた	14

共通操作

共通操作	15
■ データの読み込み・保存	15
◆ データ読み込み	15
◆ データ保存	16
◆ データ CSV 保存	17
■ 付加情報の読み込み	18
■ アップロード・ダウンロード	19
◆ ダウンロード	19
◆ アップロード	20
■ 画面イメージの保存	21
■ 画面イメージの印刷	22

システム設定

システム設定	23
■ システム設定データの流れ	23
■ システム設定画面について	24
■ システム設定データの設定	25
◆ 時刻補正の補正方法を設定	25
◆ 電源投入時プログラム実行状態の設定	26
◆ 外部制御入力	26
◆ 機能ボタン	27
◆ 制御出力	27

音源データ設定

音源データについて	28
■ 音源データの流れ	28
音源データ設定	29
■ 音源データ設定画面について	29
■ ライブラリーについて	30
■ ライブラリー登録画面について	31
◆ ライブラリーの登録	32
■ SD メッセージについて	33
■ SD メッセージ登録画面について	34
◆ SD メッセージの登録	35
◆ SD メッセージの設定	36
◆ SD メッセージのクリア	37
◆ SD メッセージのエクスポート	38
■ プレイリストについて	39
■ プレイリスト作成画面について	41
◆ プレイリストの作成	42
◆ プレイリストの設定	44

もくじ

◆ プレイリストのクリア	45
■ その他の機能	46
◆ 音源ファイルの削除	46
◆ 音源ファイル名の変更	47
◆ 音源ファイルのトリミング	48
◆ 音源ファイルのプロパティ表示	49
◆ 音源データの試聴	50
◆ 遠隔設定	51
◇ 本体との接続・切断	51
◇ 設定更新	52
◇ 音源ファイルのアップロード	53
◇ 音源ファイルのダウンロード	54

プログラム設定

プログラムの設定	55
■ プログラムについて	55
◇ ステップの種類	55
◇ スケジュールの種類	56
■ プログラム設定の流れ	57
■ プログラム設定画面について	58
■ プログラム編集画面について	59
◆ プログラムの作成	60
◆ ステップ編集のしかた	61
◆ ステップのリスト表示	63
◆ プログラムのコピー	63
◆ 日付変更時刻	64
■ 週間スケジュール編集画面について	65
◆ 週間スケジュールの設定	65
■ 祝日スケジュール編集画面について	66
◆ 祝日の追加・編集	67
◆ 祝日の削除	68
◆ 祝日スケジュールの設定	68
■ 年間スケジュール編集画面について	69
◆ 年間スケジュールの設定	70
◆ 年間スケジュールの削除	71
■ プログラム・スケジュールのクリア	72

ネットワーク接続

ネットワーク接続について	73
■ ネットワーク接続でできること	73
ネットワーク接続先を設定する	74
■ ネットワーク接続先の設定	74
◆ 接続先IPアドレスとポート番号の設定	74
機器ネットワーク設定を行う	75
■ 機器ネットワークの設定	75
◆ ネットワーク設定	76
◆ DNS サーバー設定	77
◆ TCP/IP 設定	77
■ NTP サーバーの設定	78
◆ NTP サーバー設定	78
■ ユーザー認証の設定	79
◆ ユーザー認証設定	79
■ バージョン情報の確認	80
リモート制御	81
■ リモート制御でできること	82
◆ 音源の再生・停止制御	82
◆ 出力音量制御	83
◆ プログラム制御	84
◇ 実行状態の切り換え	84
◇ プログラムの差し換え	85
◇ 今日のプログラム編集	85

故障かな!?

故障かな	86
------	----

基本操作

インストール・アンインストール

■ インストールのしかた

本ソフトウェアのインストール手順を説明します。

本ソフトウェアをインストールする際には、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合のみ、インストールしてください。

1. **ダウンロードしたファイルを解凍**
2. **解凍フォルダーにある setup.exe をダブルクリック**
インストーラーが実行され、セットアップウィザードが表示されます。
3. **[次へ] ボタンをクリック**
使用許諾画面が表示されます。
4. **「使用許諾契約」をよく読み、使用許諾に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」をチェックし、[次へ] ボタンをクリック**
インストール先選択画面が表示されます。
5. **インストール先のフォルダーを選択して[次へ] ボタンをクリック**
インストールの準備画面が表示されます。
インストール先を変更する場合は [変更] ボタンをクリックしてインストール先のフォルダーを選択します。
6. **[インストール] ボタンをクリック**
インストールが開始されます。
インストールが終了するとセットアップの終了画面が表示されます。
7. **[完了] ボタンをクリック**
セットアップの終了画面を閉じます。

メモ

- インストールが完了すると、デスクトップ上にショートカットアイコンが自動的に作成されます。また、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [WZ-PT340] - [WZ-PT340 設定支援ソフト] メニューにショートカットが自動的に作成されます。

■ アンインストールのしかた

本ソフトウェアをアンインストールするときは、以下の手順で操作します。

アンインストールの方法は Windows 7 での操作を元に説明します。ご使用の OS に読み換えて操作してください。

1. **[コントロールパネル] - [プログラムと機能] をクリック**
「プログラムと機能」画面が表示されます。
2. **[WZ-PT340 設定支援ソフト] を選択し、[アンインストール] ボタンをクリック**
以降、画面の指示にしたがって操作します。

起動と終了

■ 起動のしかた

1. デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリック
本ソフトウェアが起動し、画面が表示されます。
-

メモ

- スタートメニューの [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [WZ-PT340] - [WZ-PT340 設定支援ソフト] をクリックして起動することもできます
-

■ 終了のしかた

1. メインメニューの [終了] ボタンをクリック
終了確認画面が表示されます。
 2. [はい] ボタンをクリック
本ソフトウェアが終了します。
-

メモ

- メインメニュー以外の画面からメインメニューに移動するには各画面で [メニュー] ボタンを押してください。
-

■ メインメニューについて

本ソフトウェアを起動するとメインメニューが表示されます。
目的に応じてボタンをクリックし、各画面へ移動します。



番号	名称	内容	参照ページ
1	システム設定	外部制御入力や機能ボタンなど本体の動作に関わる設定を行います。	23
2	音源データ設定	SD メッセージやプレイリストの作成を行います。	28
3	プログラム設定	プログラムやスケジュールの設定を行います。	55
4	ネットワーク接続設定	ネットワークで本体と接続する場合、接続相手となる本体を設定します。	74
5	機器ネットワーク設定	接続した本体のネットワーク設定を行います。	75
6	リモート制御	再生制御やプログラム切り換えなど、本体を遠隔操作します。	81
7	環境設定	本ソフトウェアで使用するデータフォルダーやSD カードドライブの設定を行います。	13
8	終了	本ソフトウェアを終了します。	—

設定データについて

■ 設定について

本ソフトウェアで行う設定の流れは以下の通りです。

環境設定 (13 ページ)

本ソフトウェアを使用する前にデータフォルダーのパスやSDカードのドライブを設定します。



設定データの編集

本体で扱う各種データの設定を行います。
各画面でデータの読み込み・保存を行います。

システム設定 (23 ページ)

時刻、時刻補正方式、ネットワークの設定や運用状況に応じて設定する外部制御入力、機能ボタンの設定を行います。

音源データ設定 (28 ページ)

本体でSDカードから再生するSDメッセージの設定、プレイリスト作成等を行います。

プログラム設定 (55 ページ)

プログラムタイマー機能により、あらかじめ決められた時刻で音源データを再生したり、外部機器を制御するためのスケジュールを設定します。



ネットワークの設定

本ソフトウェアから本体にネットワーク接続するための設定、および本体のネットワーク設定を行います。

ネットワーク接続設定 (74 ページ)

本ソフトウェアから接続する本体のIPアドレスとポート番号を設定します。
本体のIPアドレスやポート番号を変更したときには本体の設定に合わせて必ず設定します。

機器ネットワーク設定 (75 ページ)

本体のネットワーク設定を行います。時刻補正手段にNTPを設定する場合は、NTPサーバーの設定も行います。



リモート制御 (81 ページ)

本ソフトウェアから本体をリモート制御します。リモート制御では再生制御、出力音量制御、プログラム制御を行うことができます。

■ 本体で扱うファイルについて

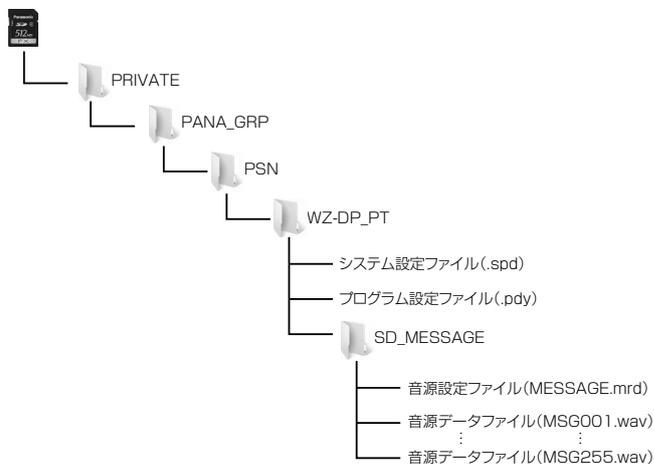
本体では以下のファイルを扱います。これらのファイルは本体や本ソフトウェアで作成、編集することができます。

ファイル	概要	設定内容	拡張子
システム設定データ	外部制御入力や機能ボタンなど本体の動作に関する設定データです。	時刻補正 機能ボタン 外部制御入力 電源投入時プログラム実行状態設定	.spd
プログラムデータ	プログラムやスケジュールに関する設定データです。	プログラム 週間スケジュール 年間スケジュール	.pdy
音源データ	SDメッセージやプレイリストに関する設定データです。 ファイル名は MESSAGE.mrd 固定です。	音源データ名称 再生回数 プレイリスト設定 シャッフル設定	.mrd
音源ファイル	SDメッセージとして使用する音源ファイルです。	—	.wav

重要

- PC 等でファイル名、拡張子やファイルの中身を変更しないでください。本体で読み込めなくなることがあります。必ず本体または、本ソフトウェアで保存したファイルをご使用ください

◆ SD カードフォルダー構成とファイル



基本操作

■ 本体とのデータ受け渡し

本体とのデータの受け渡しを行う方法は以下の2通りあります。

- ・ SDカードを介する方法
- ・ ネットワークを介する方法

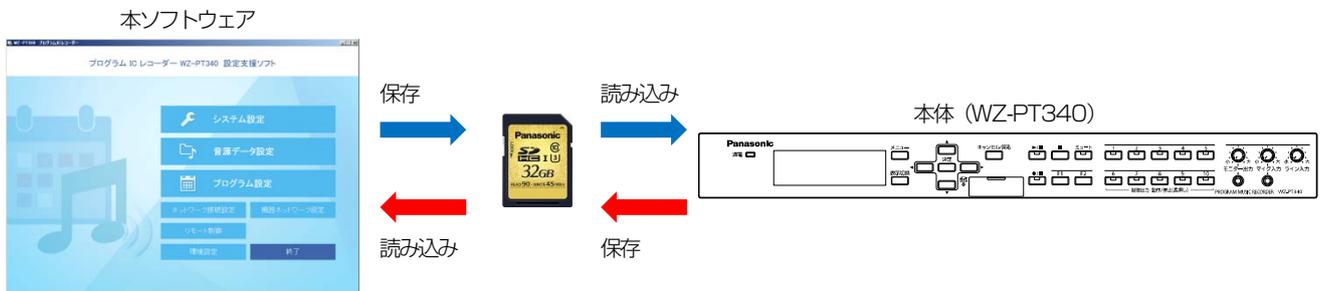
◆ SDカードを介する方法

＜本ソフトウェア→本体＞

本ソフトウェアで作成した各種データをSDカードに保存します。SDカードを本体のSDカードスロットに挿し込み、前面パネル操作でデータを読み込みます。

＜本体→本ソフトウェア＞

本体の前面パネル画面操作で各種データをSDカードに保存します。SDカードをPCのSDカードスロットに挿し込み、本ソフトウェアで読み込みます。



メモ

- 本体では音源データをSDカード上のデータをそのまま使用するため、音源データを本体に保存するための前面パネル操作は必要ありません。また、音源データの設定を本体に反映する場合でもSDカードを挿入すれば自動的に設定が読み込まれます。

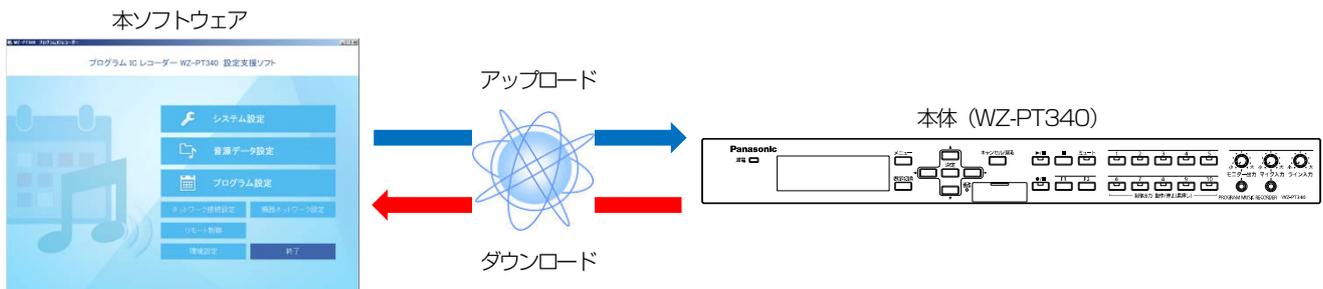
◆ ネットワークを介する方法

＜本ソフトウェア→本体＞

本ソフトウェアで編集した各種データを保存し、本体にアップロードします。アップロードは各設定画面で行います。

＜本体→本ソフトウェア＞

本体から各種設定データをデータフォルダにダウンロードします。ダウンロードは各設定画面で行います。



環境設定

環境設定

本ソフトウェアで使用するデータフォルダー、SD カードの設定を行います。
本ソフトウェアを初めてご使用の際は、PC 環境にあわせて環境設定を行ってください。

■ データフォルダーについて

データフォルダーは本ソフトウェアで扱うシステム設定ファイル、プログラムファイル、音源データを保存するフォルダーです。

本体でSD カードに保存したデータを本ソフトウェアで読み込み、データフォルダーに保存すれば運用中のデータをバックアップすることができます。

また、本ソフトウェアで作成したデータを本ソフトウェアで読み込み、SD カードに保存して本体で読み込めばデータを保存したときの設定に復元することができます。

システム設定データやプログラムデータをアップロード、ダウンロードするときもアップロード元、ダウンロード先として使用します。



メモ

- データフォルダーのフォルダーパスを設定するときは十分な空き容量があるドライブを選択してください。

環境設定

■ 環境設定画面について

環境設定画面を表示するにはメインメニューで [環境設定] ボタンをクリックします。



番号	名称	説明
1	参照	データフォルダのフォルダを選択します。
2	設定	環境設定画面で変更した内容を反映して画面を終了します。
3	キャンセル	環境設定画面で変更した内容を反映せずに画面を終了します。

◆ 環境設定のしかた

- 1. [参照] ボタンをクリックし、データフォルダのフォルダパスを設定**
[参照] ボタンをクリックするとフォルダ選択ダイアログが表示されます。
データフォルダとして使用するフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。
- 2. SD カードドライブを設定**
ご使用の環境に合わせて SD カードドライブを選択します。
- 3. [設定] ボタンをクリック**
設定が反映されます。
各画面でデータの保存・読み込みを行うと本画面で設定した場所でデータの保存・読み込みが行われます。

重要

- SD カードドライブを使用する場合は必ず SD ドライブを選択後に [設定] ボタンをクリックして設定を行ってください。

共通操作

共通操作

システム設定画面、音源データ設定画面、プログラム設定画面で実行できる共通の機能について説明します。

■ データの読み込み・保存

編集したシステム設定データ、プログラムデータ、音源データをデータフォルダーやSDカードにファイルとして読み込み・保存することができます。

事前に環境設定でデータフォルダーやSDカードのパス設定を行ってください。(環境設定 13 ページ)

ここではシステム設定データの読み込み、保存を例にして説明します。

◆ データ読み込み

データフォルダーやSDカードに保存されたシステム設定ファイルを読み込みます。

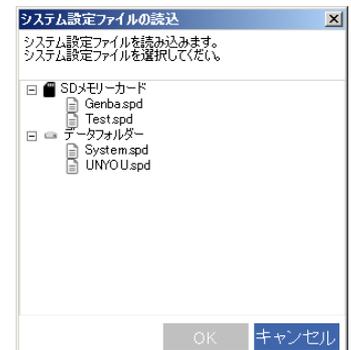
1. システム設定画面の [データ読み込み] をクリック

システム設定ファイルの読み込みダイアログが表示されます。



2. 読み込むシステム設定ファイルを選択

読み込みできるのは本体で保存したSDカード上のシステム設定ファイルか、データフォルダーに保存されているシステム設定ファイルです。



3. [OK] ボタンをクリック

データの読み込みが開始され、画面に反映されます。



共通操作

◆ データ保存

編集したデータをデータフォルダーやSDカードに保存します。データを保存したSDカードを本体に差し込んで読み込むと、本ソフトウェアで編集した内容を本体に反映することができます。

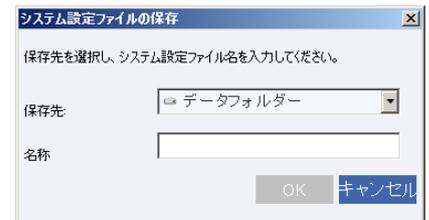
1. システム設定画面の [データ保存] をクリック

システム設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。



2. 保存先を選択

保存先はデータフォルダーあるいはSDカードから選択します。



3. ファイル名を入力

- システム設定データ、プログラムデータの場合
使用可能な文字数は英数字 11 文字までです。
- 音源データの場合
フォルダーに使用可能な文字を入力することができます。
保存先にSDカードを選択した場合は、データ名を入力することができません。

重要

- SDカードに保存できる音源データは1つまでです。SDカードに音源データがある状態で音源データを保存すると、SDカード上の音源データは上書きされます。

4. [OK] ボタンをクリック

保存が実行されます。

◆ データ CSV 保存

独自のシステム設定表を作成したり、設定内容を印刷して記録として残したりする場合に、画面表示中のデータを CSV 形式のファイルで PC に保存します。

CSV 形式のファイルとは、カンマで区切られた定型のテキスト形式ファイルで、Microsoft Excel などの表計算ソフトで開きます。

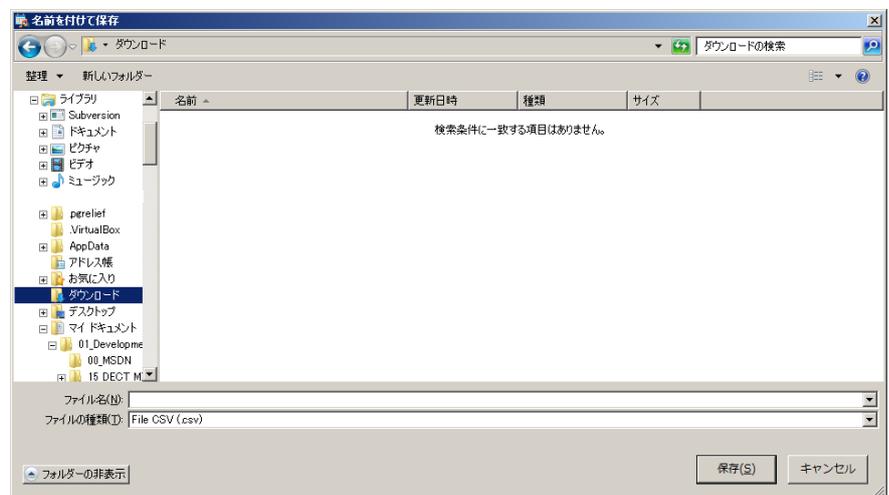
本ソフトウェアでは CSV ファイルを読み込むことはできません。

1. 【CSV 保存】 ボタンをクリック

システム設定データの CSV ファイル保存ダイアログが表示されます。



2. 保存先フォルダーを選択してファイル名を入力



3. 【保存】 ボタンをクリック

CSV ファイルが作成されます。

■ 付加情報の読み込み

プログラムデータや音源データを読み込むことにより、SD メッセージ、プレイリストの名称、再生時間、プログラムの名称を表示することができます。

画面	読み込み対象	付加情報
システム設定	音源データ プログラムデータ	外部制御入力や機能ボタンに音源データ再生やプログラム差し換えを割り当てるときに音源（SD メッセージやプレイリスト）やプログラムの名称、再生時間を表示することができます。
プログラム設定	音源データ システム設定データ	音源データ再生や制御出力のプログラムを設定するとき音源や制御出力の名称、再生時間を表示することができます。

※音源データ設定画面では読み込める付加情報はありません。

ここではシステム設定データ編集画面の付加情報読み込みを例に説明します。

1. 【付加情報読み込み】 ボタンをクリック

「プログラムデータ」、「音源データ」のサブメニューが表示されます。

2. サブメニューから読み込むデータを選択

データ読み込みダイアログが表示されます。

ここでは説明のためプログラムデータを読み込む流れを説明します。

「音源データ」も操作方法は同様です。

3. 読み込むデータを選択し、[OK] ボタンをクリック

データが読み込まれ、画面に反映されます。

-
- システム設定画面では付加情報を読み込むと、外部制御入力や機能ボタンに機能を割り当てるときにプログラムや SD メッセージ、プレイリストは以下の通りに表示されます。
 - プログラムデータを読み込んだ場合
 - ステップが存在するプログラムは緑色の文字で表示されます。
 - ステップが存在しないプログラムは黒色の文字で表示されます。
 - 音源データを読み込んだ場合
 - 音源ファイルが登録されている SD メッセージ、SD メッセージが登録されているプレイリストは緑色の文字で表示されます。
 - 音源ファイルが登録されていない SD メッセージ、SD メッセージが登録されていないプレイリストは黒色の文字で表示されます。
-

■ アップロード・ダウンロード

ネットワーク接続していれば本体からシステム設定データやプログラムデータを取得（ダウンロード）したり、PC 内のシステム設定データやプログラムデータを本体に反映（アップロード）したりできます。

事前にネットワーク接続設定で接続先の IP アドレスとポート番号を設定してください。（74 ページ）

ここではシステム設定データ編集画面のアップロード/ダウンロードを例に説明します。

メモ

- 本ソフトウェアを起動してから初めて本体にアクセスするとユーザー認証画面が表示されます。本体へのアクセスを続けるにはユーザー認証画面でユーザー名とパスワードを入力してください。（79 ページ）
- 本体で音源データ再生中にデータをアップロードすると、再生が停止します。
- 音源データをアップロード・ダウンロードすることはできません。

重要

- プログラムデータをアップロード、ダウンロードするときは必ず PC と本体の日付を合わせてください。

◆ ダウンロード

本体のシステム設定データをダウンロードし、データフォルダーあるいは SD カードに保存します。

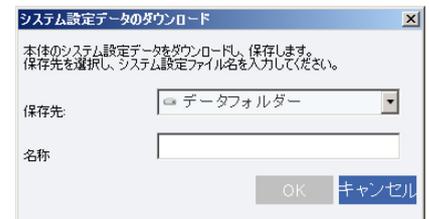
1. [ダウンロード] ボタンをクリック

システム設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。



2. 保存先を選択

保存先はデータフォルダーあるいは SD カードから選択します。



3. ファイル名を入力

ファイル名に使用可能な文字は英数字で 11 文字までです。

4. [OK] ボタンをクリック

ダウンロードされたシステム設定データがファイルとして保存されます。

また、ダウンロードしたシステム設定データの設定内容が画面に反映されます。

メモ

- ダウンロード実行の前に編集中のシステム設定データがある場合は上書き確認画面が表示されます。ダウンロードを実行すると編集中のデータが上書きされますので、必ず保存してからダウンロードを実行してください。

共通操作

◆ アップロード

データフォルダーあるいはSDカードにあるシステム設定ファイルを本体にアップロードします。

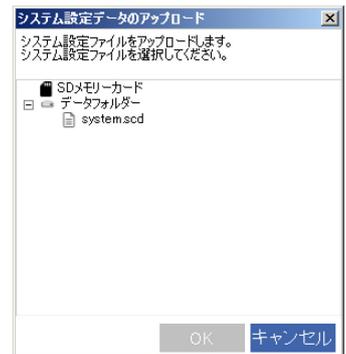
1. [アップロード] ボタンをクリック

システム設定ファイルの読み込みダイアログが表示されます。



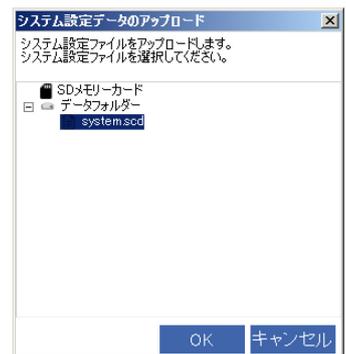
2. アップロードするシステム設定ファイルを選択

アップロードできるのはSDカード上のシステム設定ファイルか、データフォルダーに保存されているシステム設定ファイルです。



3. [OK] ボタンをクリック

アップロードが実行され、アップロードしたシステム設定データが画面に反映されます。



メモ

- アップロード実行の前に編集中のシステム設定データがある場合は上書き確認画面が表示されます。アップロードを実行すると編集中のデータが上書きされますので、必ず保存してからアップロードを実行してください。

■ 画面イメージの保存

本ソフトウェアの表示画面を画像ファイル（ビットマップ形式、拡張子は.bmp）として保存できます。
画面右上の「画面保存」ボタンをクリックすると、そのときに表示されている画面を保存します。

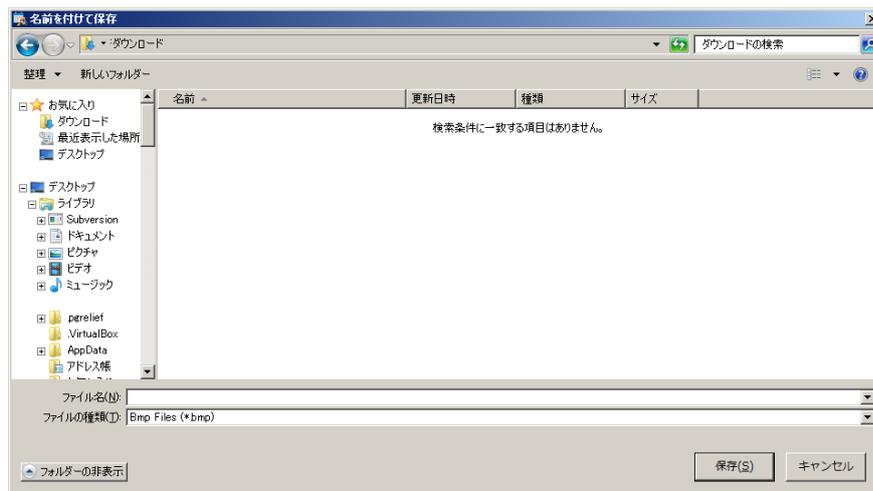
1. 各画面で、「画面保存」ボタンをクリック

画面イメージの保存ダイアログ
が表示されます。



2. 保存先フォルダーを選択し、ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリック

ファイルの種類はビットマップ
ファイル（*.bmp）のみです。



共通操作

■ 画面イメージの印刷

本ソフトウェアの画面を PC が印刷可能なプリンターから印刷できます。

画面右上の「画面印刷」ボタンをクリックすると、そのときに表示されている画面を印刷します。

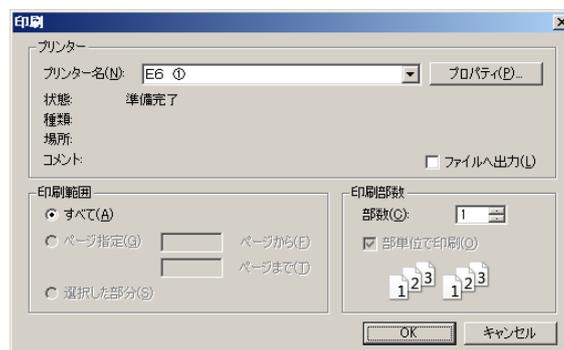
1. 各画面で、「画面印刷」ボタンをクリック

印刷ダイアログが表示されます。



2. ご使用の環境に合わせてプリンターを選択して印刷

※プリンターの設定で印刷の向きを「よこ」に設定してください。



メモ

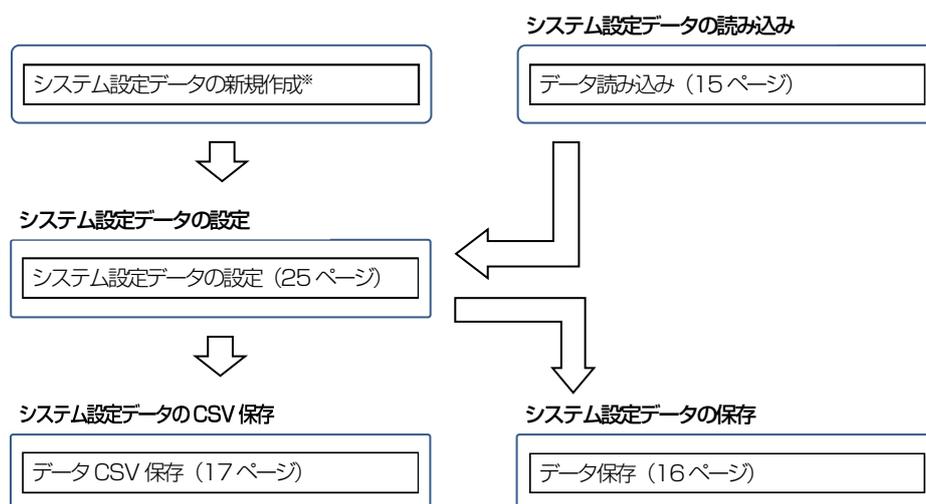
- お使いのプリンターによっては画面を正しく印刷できない場合があります。その場合は画面イメージの保存（21 ページ）を行い、保存したビットマップファイルを印刷してください。

システム設定

システム設定

本体で使用する外部制御入力や機能ボタンなどの設定を行います。

■ システム設定データの流れ



※ システム設定データを新規に作成する場合は、メインメニューの [システム設定] ボタンをクリックし、システム設定画面を表示します。

システム設定

■ システム設定画面について

システム設定画面を表示するには、メインメニューの [システム設定] ボタンをクリックします。



番号	名称	説明
1	画面保存	表示中の画面を画像ファイル(ビットマップ)として保存します。
2	画面印刷	表示中の画面を印刷します。
3	データ読込	保存されたシステム設定データを読み込みます。
4	データ保存	システム設定データをファイルとして保存します。
5	ダウンロード	ネットワークで接続された本体からシステム設定データを取得します。
6	アップロード	ネットワークで接続された本体にシステム設定データを反映します。
7	CSV 保存	システム設定データを CSV 形式で保存します。
8	付加情報読込	プログラムデータや音源データを読み込み、外部制御入力や機能ボタンで設定した内容に応じて名称や再生時間を表示します。
9	メニュー	メニュー画面に戻ります。
10	時刻補正	時刻補正を行うときの補正方法を設定します。
11	電源投入時プログラム実行状態	本体電源投入時のプログラム実行状態を設定します。
12	外部制御入力	外部制御入力 が ON されたときに再生する音源を設定します。
13	機能ボタン	機能ボタンに割り当てる機能を設定します。
14	制御出力	制御出力の名称を設定します。

■ システム設定データの設定

◆ 時刻補正の補正方法を設定

プログラムタイマー機能を使用するときには本体の時刻を正確にするために時刻補正を行います。時刻補正方法の設定を行います。

7. 【補正方法】 コンボボックスで時刻補正方法を設定



設定は以下から選択できます。

時刻補正の動作については、本体の取扱説明書をご確認ください。

設定	説明
なし	時刻補正しません。
時報音声入力	時報音声入力により時刻を補正します。
NTP	NTPにより時刻を補正します。
メイク接点入力	メイク接点入力により時刻を補正します。
親時計	親時計により時刻を補正します。

重要

- 時刻補正にNTPを使用する場合はNTPサーバーの設定を必ず行ってください。NTPサーバーの設定を行わないと時刻補正が正常に動作しません。(78ページ)

システム設定

◆ 電源投入時プログラム実行状態の設定

電源投入時のプログラムの実行状態を設定します。

1. 【オートスタート】コンボボックスで時刻補正方法を設定



設定は以下から選択できます。

設定	説明
AUTO	前回の電源オフ時と同じ状態で起動します。
OFF	電源投入時、プログラム停止状態で起動します
ON	電源投入時、プログラム実行状態で起動します。

◆ 外部制御入力

外部制御入力が ON されたときに再生する音源データを設定します。

1. 設定する外部制御入力の名称欄をダブルクリックして外部制御入力の名称を入力

入力可能文字：半角 16 文字、
全角 8 文字



2. 設定する外部制御入力の種別欄、No 欄をダブルクリックして設定



種別	No	説明
なし	—	外部制御入力が ON されても音源データを再生しません。
内蔵音源	ORG1~ORG8	外部制御入力が ON されたときに設定した音源データ(内蔵音源、SD メッセージ、プレイリスト) を再生します。
SD メッセージ	MSG001~MSG255	
プレイリスト	LIST01~LIST50	

メモ

- [付加情報読込] ボタンから音源データを読み込むと各音源データの名称、再生時間を表示することができます。また、設定した音源データが存在する場合は No 欄の文字が緑で表示されます。

◆ 機能ボタン

機能ボタン [F1] / [F2] を押したときに、実行する機能を割り当てます。

1. 設定する機能ボタンの名称欄をダブルクリックして機能ボタンの名称を入力

入力可能文字： 半角 16 文字
全角 8 文字

機能ボタン	名称	機能	種別	No.	再生時間	付加情報
F1	機能ボタン(F1)	機能なし				
F2	機能ボタン(F2)	機能なし				

2. 機能ボタンを押したときに実行する機能を割り当て

機能ボタン	名称	機能	種別	No.	再生時間	付加情報
F1	機能ボタン(F1)	機能なし				
F2	機能ボタン(F2)	機能なし 音源データ再生 プログラム差し換え				

機能	種別	No.	説明
機能なし		—	機能ボタンに機能を割り当てません。割り当てた機能を削除するときに選択します。
音源データ再生	内蔵音源	ORG1~ORG8	外部制御入力が ON されたときに設定した音源 (内蔵音源、SD メッセージ、プレイリスト) を再生します。
	SD メッセージ	MSG001~MSG255	
	プレイリスト	LIST01~LIST50	
プログラム差し換え	プログラム	D01~D24	機能ボタンが押されたときに実行中のプログラムをあらかじめ設定されたほかのプログラムに差し換えます。

メモ

- [付加情報読込] ボタンから音源データやプログラムファイルを読み込むと各音源データの名称、再生時間やプログラムの名称を表示することができます。また、設定した音源データが存在する場合、あるいは設定したプログラムにステップが存在する場合は No 欄の文字が緑で表示されます。

◆ 制御出力

1. 制御出力の名称を変更

設定する制御出力の名称欄をダブルクリックすると制御出力の名称を変更することができます。
入力可能文字： 半角 16 文字
全角 8 文字

外部制御出力	番号	名称
	1	制御出力1
	2	制御出力2
	3	制御出力3
	4	制御出力4
	5	制御出力5
	6	制御出力6
	7	制御出力7
	8	制御出力8
	9	制御出力9
	10	制御出力10

メモ

- 制御出力の名称はプログラム編集画面の [付加情報読込] ボタンからシステム設定データを読み込むと、制御出力に名称が反映されます。

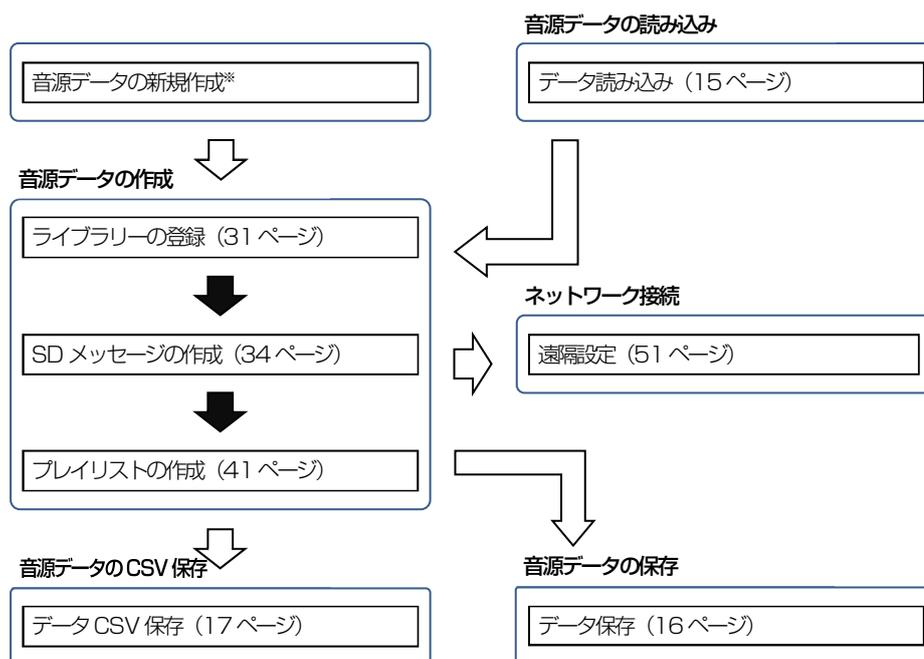
音源データ設定

音源データについて

音源データとは SD メッセージやプレイリストに関する設定と SD メッセージに使用する音源ファイルの総称です。

■ 音源データの流れ

音源データ作成の流れを説明します。

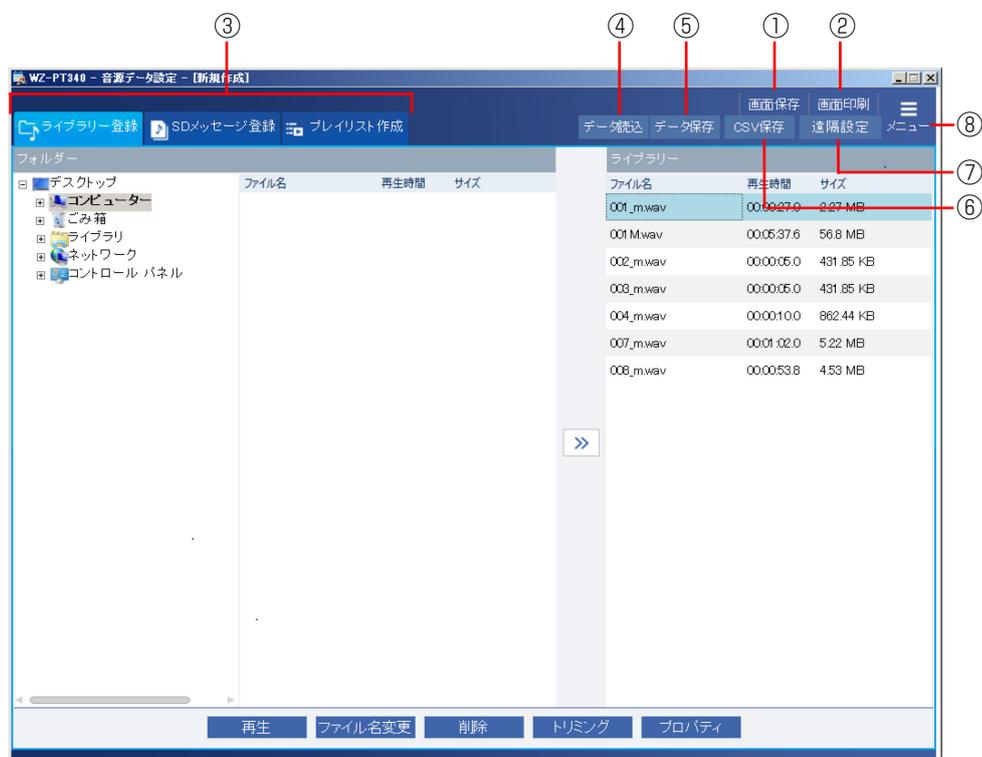


※ 音源データを新規に作成する場合はメインメニューの [音源データ設定] ボタンをクリックし、音源データ設定画面を表示します。

音源データ設定

■ 音源データ設定画面について

音源データ設定画面を表示するにはメインメニューの「音源データ設定」ボタンをクリックします。



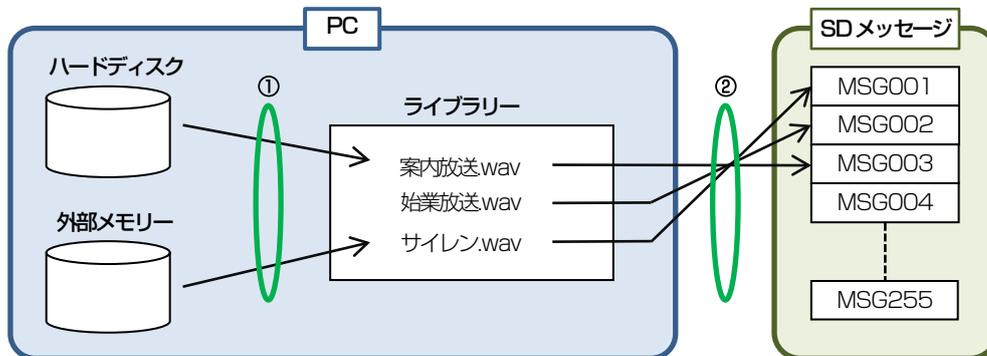
番号	名称	説明
1	画面保存	表示中の画面を画像ファイル（ビットマップ）として保存します。
2	画面印刷	表示中の画面を印刷します。
3	ライブラリー登録 SDメッセージ登録 プレイリスト作成	ライブラリーへ音源ファイルの登録を行うときは「ライブラリー登録」タブを、SDメッセージの登録を行うときは「SDメッセージ登録」タブを、プレイリストを作成する場合は「プレイリスト作成」タブを選択します。
4	データ読み込	保存された音源データを読み込みます。
5	データ保存	音源データを保存します。
6	CSV保存	音源データをCSV形式で保存します。
7	遠隔設定	本体のSDカードに保存されているSDメッセージやプレイリストの設定を変更し、本体に反映します。 また、本体でSDメッセージに使用している音源をダウンロードしたり、ライブラリーから音源ファイルをアップロードしたりできます。
8	メニュー	メニュー画面に戻ります。

音源データ設定

■ ライブラリーについて

ライブラリーは本ソフトウェアで使用する音源ファイルを保存するフォルダーです。ライブラリーにある音源ファイル（*.wav）はSDメッセージとして登録できます。

ハードディスクや外部メモリーなど PC 上の音源ファイルをメッセージとして使用する場合は、音源ファイルをライブラリーに登録してください。



① PC上の音源ファイルをライブラリーに登録する。

② ライブラリーに登録されている音源ファイルをSDメッセージに登録する。

メモ

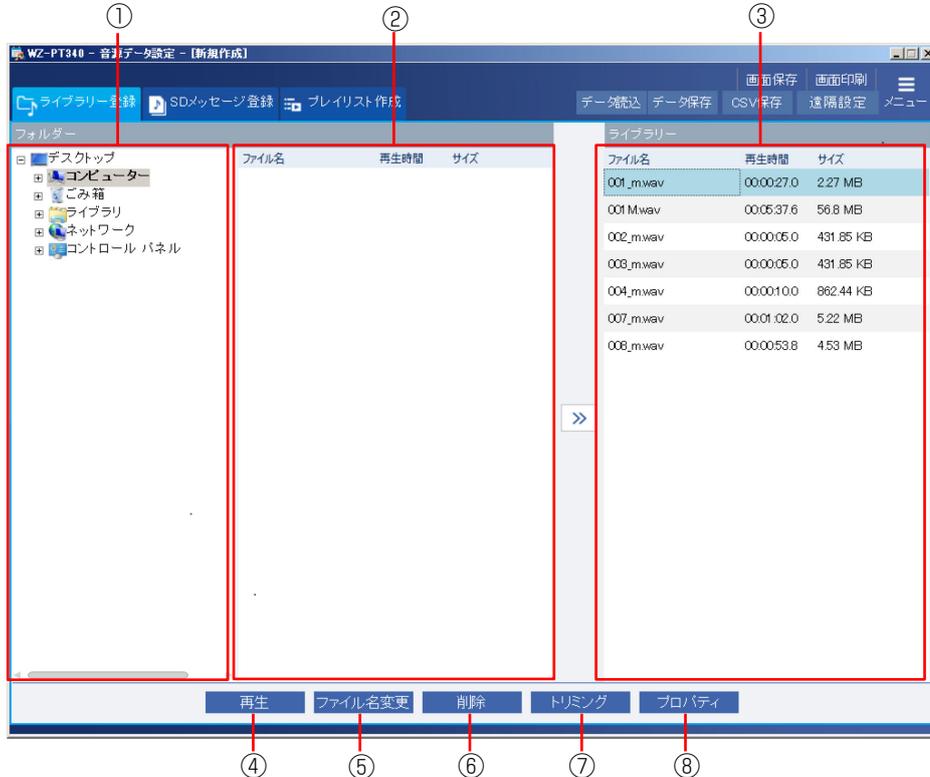
- ライブラリーには音源ファイルが保存されます。フォルダーパスを設定するときは十分な空き容量があるドライブを選択してください。

■ ライブラリー登録画面について

PC内の音源ファイルをライブラリーに登録します。

ライブラリーに登録した音源ファイルはSDメッセージに登録できます。

ライブラリーの登録は音源データ設定画面の [ライブラリー登録] タブで行います。



番号	名称	説明
1	フォルダーリスト	PC内のフォルダーを表示します。
2	音源ファイルリスト	フォルダーリストで選択したフォルダー内の音源ファイルを表示します。
3	ライブラリー表示欄	ライブラリーに登録されている音源ファイルを表示します。
4	再生	サウンドプレイヤーを起動し、音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルを試聴します。
5	ファイル名変更	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルのファイル名を変更します。 [SDメッセージ登録] タブにてSDメッセージに割り当てられている音源ファイルはファイル名変更できません。
6	削除	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルを削除します。 SDメッセージに割り当てられているライブラリーの音源ファイルは削除できません。
7	トリミング	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルの前後をカットし、新しい音源ファイルとしてライブラリーに保存します。
8	プロパティ	音源ファイルのプロパティを表示します。

音源データ設定

◆ ライブラリーの登録

PC内の音源ファイルをライブラリーに登録します。

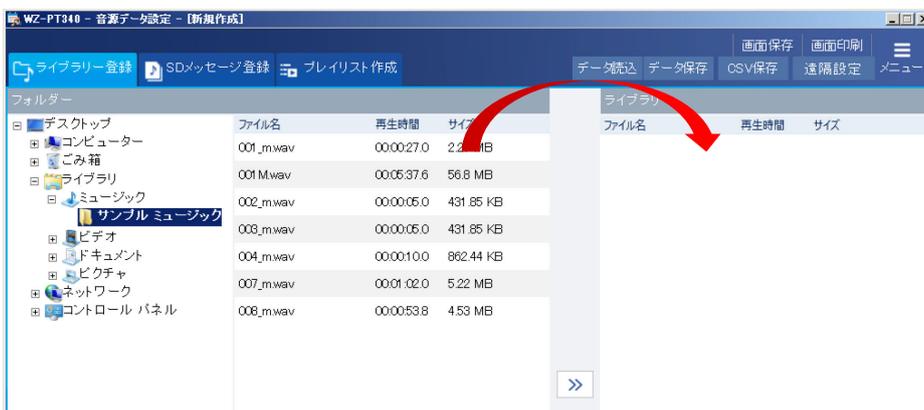
1. フォルダーリストから音源ファイルがあるフォルダーをクリック

選択したフォルダー内の音源ファイルが音源ファイルリストに表示されます。



2. 音源ファイルリストから音源ファイルを選択し、ライブラリー表示欄にドラッグ&ドロップ

選択した音源ファイルがライブラリーに登録されます。

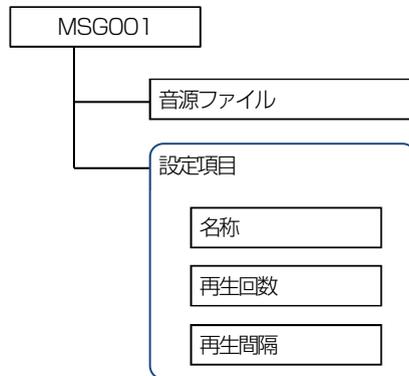


メモ

- ドラッグ&ドロップの代わりに、音源ファイルを選択して [>>] ボタンをクリックしても選択した音源ファイルをライブラリーに登録できます。

■ SD メッセージについて

SD メッセージとは本体で管理するデータ (MSG001~MSG255) であり、音源ファイルと各種設定で構成されます。SD メッセージに音源ファイルを割り当てることで、音源ファイルを SD メッセージとして管理します。ライブラリーに登録された音源ファイルを SD メッセージとして登録することができます。



SD メッセージの概念

SD メッセージに割り当てることができる音源ファイルフォーマットは下表の通りです。

ファイル	項目	内容
WAV	フォーマット	リニア PCM
	サンプリング周波数	44.1 kHz
	量子化ビット数	16 bit
	チャンネル	モノラル / ステレオ

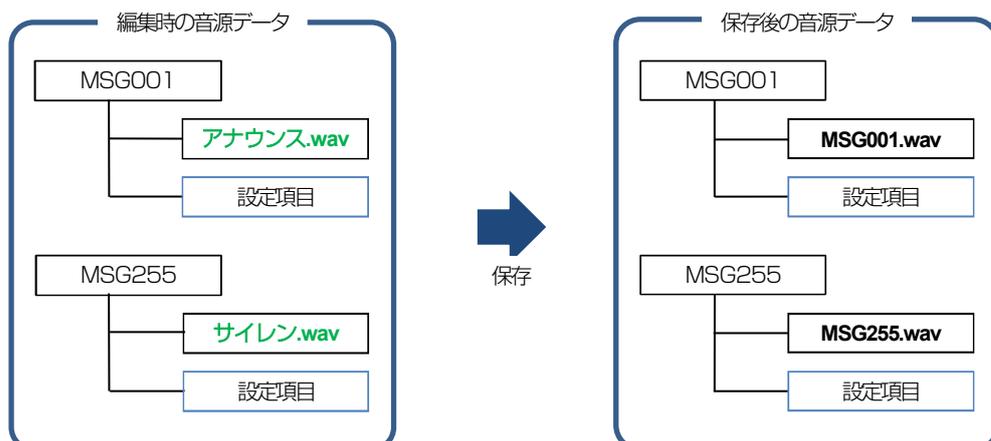
本体では MSG001~MSG255 の 255 個の SD メッセージを扱うことができます。SD メッセージはプログラム、外部制御入力、機能ボタンから再生することができます。複数の SD メッセージを組み合わせることでプレイリストを作成することができます。

メモ

- ステレオファイルの場合は、本体では再生時に Lch、Rch をミキシングして再生します。
- 音声ファイルは、120 分以内の音源ファイルを使用してください。

重要

- SD メッセージの音源ファイル名は音源データ保存時に自動的に MSG***.wav(***:SD メッセージ番号)に変更されます。なお、音源ファイルリストに表示されたオリジナルの音源はそのまま保持されます。



音源データ設定

■ SD メッセージ登録画面について

SD メッセージの登録や設定を行います。

SD メッセージの登録は音源データ設定画面の [SD メッセージ登録] タブで行います。

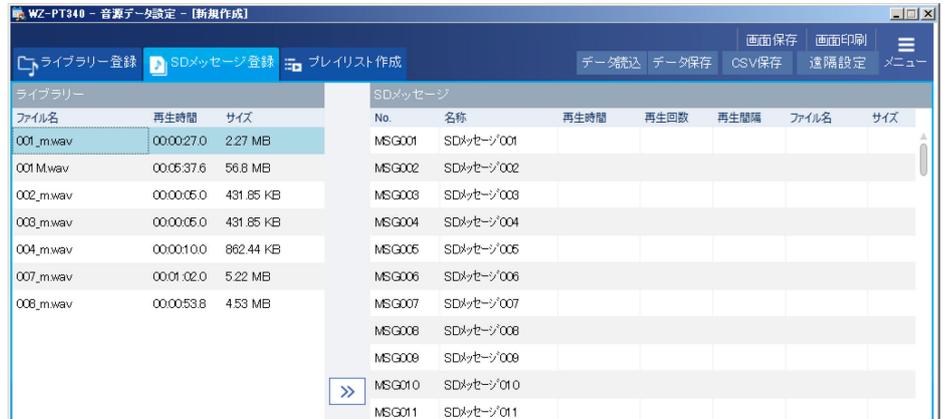


番号	名称	説明
1	ライブラリー表示欄	ライブラリーに登録されている音源ファイルを表示します。
2	SD メッセージ表示欄	SD メッセージが一覧表示されます。 SD メッセージの名称、再生回数、再生間隔などを設定します。
3	再生	サウンドプレーヤーを起動し、ライブラリー表示欄やSD メッセージ表示欄で選択した音源ファイルを試聴します。
4	ファイル名変更	音源ファイルリストやライブラリー表示欄で選択した音源ファイルのファイル名を変更します。 [SD メッセージ登録] タブにてSD メッセージに割り当てられている音源ファイルはファイル名変更できません。
5	削除	ライブラリー表示欄で選択した音源ファイルを削除します。 [SD メッセージ登録] タブにてSD メッセージに割り当てられている音源ファイルは削除できません。
6	トリミング	ライブラリー表示欄で選択した音源ファイルの前後をカットし、新しい音源ファイルとしてライブラリーに保存します。
7	クリア	SD メッセージ表示欄で選択したSD メッセージの音源ファイルの登録を解除し、設定をクリアします。
8	エクスポート	SD メッセージ表示欄で選択したSD メッセージに割り当てられている音源ファイルをライブラリーコピーします。
9	プロパティ	音源ファイルのプロパティを表示します。

◆ SD メッセージの登録

ライブラリー表示欄にある音源ファイルを SD メッセージに登録します。

1. ライブラリー表示欄の音源ファイルを選択



2. SD メッセージ表示欄の登録したい番号にドラッグ&ドロップ

ドロップした番号の SD メッセージに音源ファイルが登録され、音源ファイルの情報が表示されます。



メモ

- ドラッグ&ドロップの代わりに、音源ファイルを選択して [>>] ボタンをクリックしたあと、SD メッセージ表示欄の登録した番号を指定することで、選択した音源ファイルを SD メッセージに登録できます。

メモ

- ライブラリー表示欄ではファイル名の文字色で音源ファイルの状態を表します。
 - 黒：本体および本ソフトウェアでサポートしている形式の音源ファイルで、SD メッセージに登録されていません。
 - 緑：本体および本ソフトウェアでサポートしている形式の音源ファイルで、SD メッセージに登録されています。
 - 赤：本体および本ソフトウェアでサポートしていない形式の音源ファイルです。なお、文字色の黒、緑については、SD メッセージ登録作業中のみ上記状態を示します。登録作業後にデータ保存し編集が確定後は音源ファイルの文字色は黒表示のみとなります。データ読み込み後も同様です。

音源データ設定

◆ SD メッセージの設定

SD メッセージの名称、再生回数、再生間隔を設定します。

SD メッセージの設定を行うにはあらかじめメッセージの登録を行ってから設定してください。

1. 名称を入力

SD メッセージ表示欄で設定を行う SD メッセージの[名称]欄をダブルクリックし、名称を入力します



名称に入力できる文字一覧表

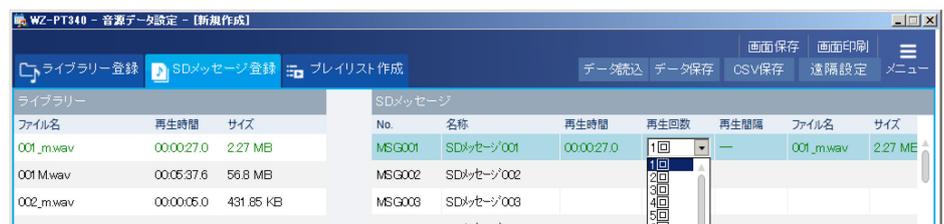
入力可能文字種										
英大文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
	U	V	W	X	Y	Z	/	/	/	/
英小文字	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
	u	v	w	x	y	z	/	/	/	/
記号	!	"	#	\$	%	&	'	()	*
	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
	?	@	_	空白	/	/	/	/	/	/
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
カタカナ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	/	/	/	/
	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	空白
—	。	、	/	/	/	/	/	/	/	

メモ

- メッセージ名称は 15 文字まで入力できます。入力可能な文字は、半角の英大文字、英小文字、数字、記号、カタカナです。
- 全角の英大文字、英小文字、数字、記号、カタカナを入力した場合は、自動的に半角に変換されます。
- 全角ひらがなを入力した場合は、自動的に半角カタカナに変換されます。
- メッセージ名称に使用できる文字以外の文字を入力した場合は、入力した文字は無視されます。

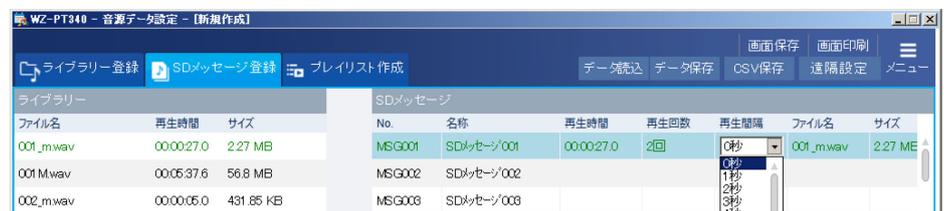
2. [再生回数] 欄をダブルクリックし、SD メッセージの再生回数を設定

再生回数 1~99、無限



3. [再生間隔] 欄をダブルクリックし、メッセージの再生間隔を設定 (再生回数を 2 回以上に設定したときのみ)

再生間隔 0~60 秒
(1 秒刻み)



◆ SD メッセージのクリア

SD メッセージから音源ファイルの登録を解除し、設定をクリアします。

1. SD メッセージリストからクリアする SD メッセージを選択



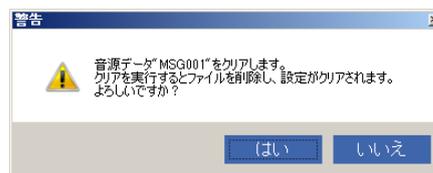
2. [クリア] ボタンをクリック

確認画面が表示されます。



3. [はい] ボタンをクリック

SD メッセージに登録されていた音源ファイルが削除され、設定がクリアされます。



メモ

- ライブラリー表示欄から音源ファイルを選択して登録したSDメッセージはクリアしてもライブラリーの音源ファイルは削除されません

音源データ設定

◆ SD メッセージのエクスポート

SD メッセージに登録されている音源ファイルをライブラリーにコピーします。音源ファイルをライブラリーにコピーすることで、他の音源データ作成時にも音源ファイルを使い回すことができます。

1. SD メッセージリストでエクスポートするメッセージを選択



2. [エクスポート] ボタンをクリック

エクスポート画面が表示されます。



3. ファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリック

メッセージに登録されている音源ファイルが、ライブラリーにコピーされます。



メモ

- ライブラリー表示欄から音源ファイルを選択して登録したSDメッセージはエクスポートすることはできません。

■ プレイリストについて

プレイリストとは複数のSDメッセージを組み合わせた音源データのことを指します。

あらかじめプレイリストを作成しておけば、定形メッセージのアナウンス放送や複数の音楽をBGM放送することができます。また、各SDメッセージの間に無音区間を設定できます。

用途および本体のディップスイッチ設定に応じてプレイリストを作成してください。

プレイリスト作成にあたり注意すること

外部制御入力による音源の再生モードは、本体のディップスイッチ（再生モード）の設定で決まります。

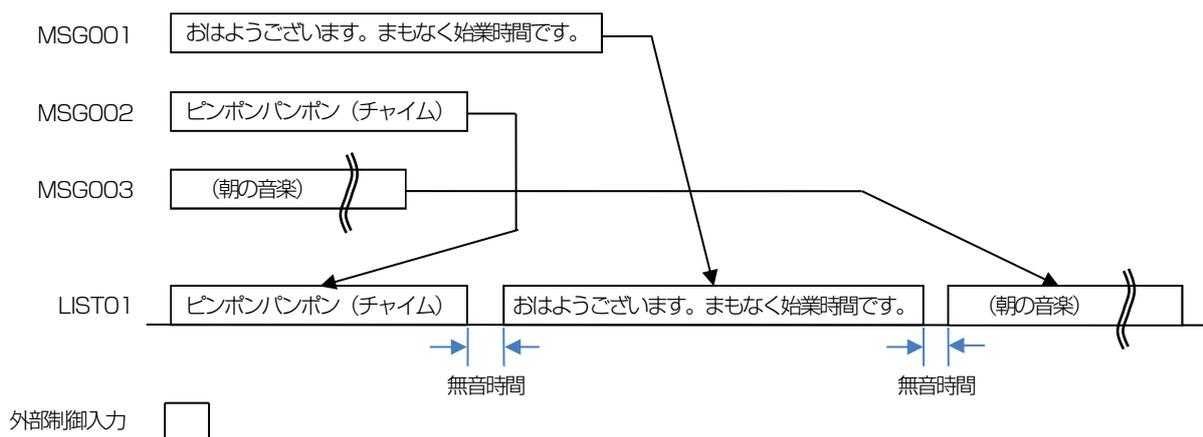
外部制御入力を使用するプレイリストは、本体の再生モードの動作と合わせた作成が必要になります。

以下にプレイリストと再生モードの関係について説明します。

① アナウンスモードとして使用する場合

プレイリスト作成時に設定した順番通りにSDメッセージを再生します。定形のアナウンス放送用途に使用することができます。

本体のディップスイッチ（再生モード）をアナウンスモードに設定すると、外部制御入力をパルス入力することでプレイリストを最後まで再生できます。

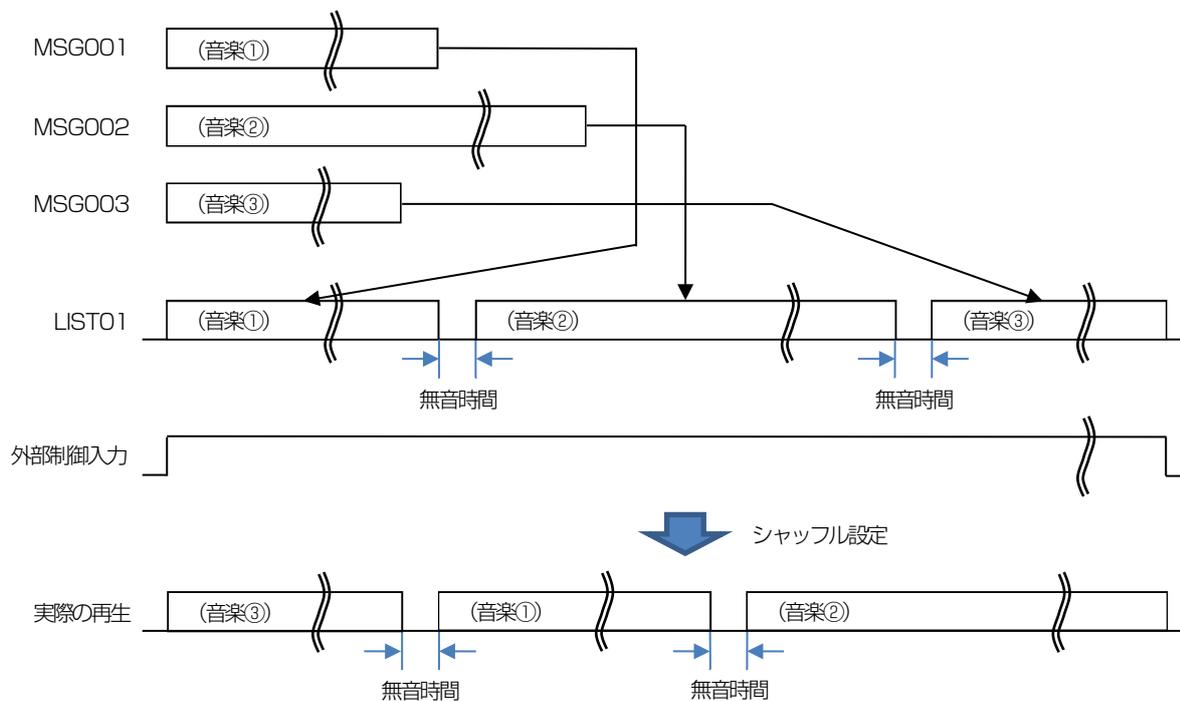


音源データ設定

② BGMモードとして使用する場合

音楽のSDメッセージを複数組み合わせることでBGM用途で使用することができます。シャッフル設定をすれば曲順をランダムにして再生することが可能です。

本体のディップスイッチ（再生モード）をBGMモードに設定すると、外部制御入力がON（メイク）されている間プレイリストを繰り返し再生できます。



※シャッフル再生時の再生順番は再生起動を行う度にランダムな再生順番になります。

重要

- 外部制御入力で音源を再生する場合は、目的に合わせて必ず本体のディップスイッチの設定を行ってください。

■ プレイリスト作成画面について

プレイリストの作成や設定を行います。

プレイリストの作成は音源データ設定画面の [プレイリスト作成] タブで行います。



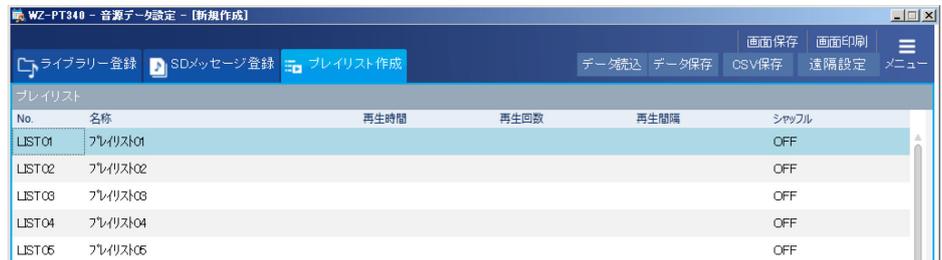
番号	名称	説明
1	プレイリスト表示欄	プレイリストが一覧表示されます。 プレイリストの名称、再生回数、再生間隔、シャッフル設定を設定します。
2	再生	サウンドプレーヤーを起動し、プレイリスト表示欄で選択したプレイリストを再生します。
3	作成	プレイリストを作成します。
4	クリア	プレイリスト表示欄で選択したプレイリストを削除します。

音源データ設定

◆ プレイリストの作成

プレイリストは最大 50 件まで作成することができます。

1. 作成するプレイリストの番号をクリック



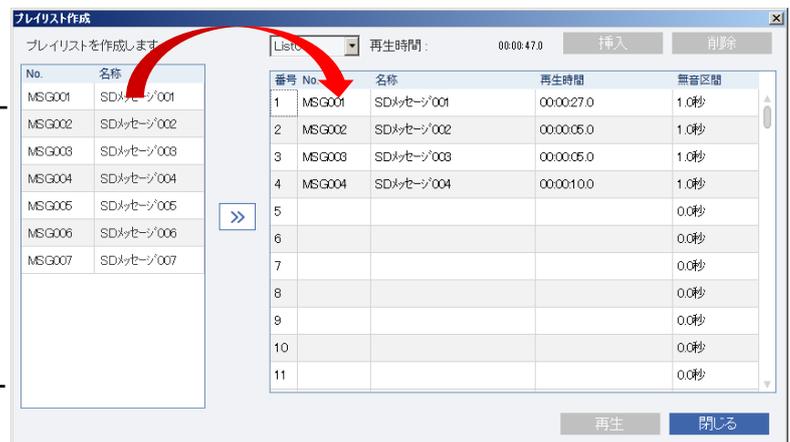
2. 【作成】 ボタンをクリック

プレイリスト作成画面が表示されます。



3. プレイリストに登録する SD メッセージを選択し、プレイリスト番号にドラッグ&ドロップ

選択した SD メッセージがプレイリストに登録されます。



メモ

ドラッグ&ドロップの代わりに、SD メッセージを選択して [>>] ボタンをクリックしたあと、プレイリスト番号を指定することで、選択した、選択した SD メッセージをプレイリストに登録できます。

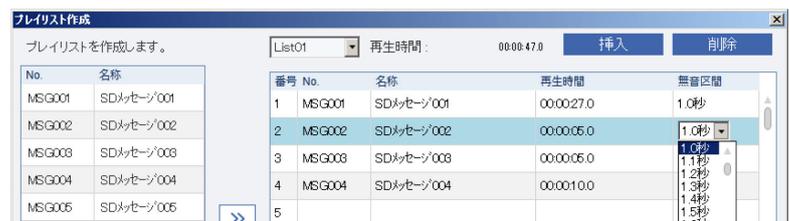
メモ

- プレイリストには最大 127 の SD メッセージを登録することができます。
- SD メッセージを登録すると自動的に無音区間が 1.0 秒に設定されます。
- Ctrl や Shift を押しながら SD メッセージを選択すると複数の SD メッセージを選択することができます。

4. 登録したプレイリスト番号の【無音区間】欄をダブルクリックし、無音区間を設定

設定できる無音区間は 0.0 秒～60.0 秒 (0.1 秒刻み) です。

3～4 の作業を繰り返してプレイリストを作成します。



5. [閉じる] ボタンをクリック

プレイリスト作成画面が閉じます。



メモ

- プレイリスト作成画面で表示される各ボタンの動作は以下の通りです。
 - ・ [挿入] ボタンをクリックすると、選択した番号の前に SD メッセージを追加します。
 - ・ [削除] ボタンをクリックすると、選択した番号の SD メッセージを削除します。
 - ・ [再生] ボタンをクリックすると、サウンドプレーヤーを起動し選択した SD メッセージを再生します。
-

音源データ設定

◆ プレイリストの設定

プレイリストの名称、再生回数、再生間隔、シャッフル設定を設定します。

1. 名称を入力

プレイリスト表示欄で設定を行うプレイリストの[名称]欄をダブルクリックし、名称を入力します。



メモ

- メッセージ名称は 15 文字まで入力できます。入力可能な文字は、半角の英大文字、英小文字、数字、記号、カタカナです。
- 入力可能な文字の詳細は SD メッセージの名称に入力できる文字一覧 (36 ページ) を参照してください。

2. [再生回数] 欄をダブルクリックし、プレイリストの再生回数を設定

再生回数は 1~99 回、無限回から選択できます。



3. [再生間隔] 欄をダブルクリックし、メッセージの再生間隔を設定

再生間隔は 0~60 秒(1 秒刻み)から選択できます。

再生間隔は再生回数を 2 回以上に設定したときのみ設定できます。



4. [シャッフル] 欄をダブルクリックし、シャッフル設定

ON : プレイリスト再生時、再生順番をシャッフルして再生します。

OFF : プレイリスト再生時、SD メッセージの登録順序にしたがって再生します。



◆ プレイリストのクリア

プレイリストをクリアします。

1. プレイリスト表示欄でクリアするプレイリストを選択



2. [クリア] ボタンをクリック

クリア確認画面が表示されます。



3. [はい] ボタンをクリック

選択したプレイリストがクリアされます。

クリアを中止するには [いいえ] ボタンをクリックします。



音源データ設定

■ その他の機能

◆ 音源ファイルの削除

音源ファイルリストやライブラリー表示欄から音源ファイルを削除します。

1. 音源ファイルリストやライブラリー表示欄から削除する音源ファイルを選択



2. [削除] ボタンをクリック

削除確認画面が表示されます。



3. [はい] ボタンをクリック

選択した音源ファイルが削除されます。

削除を中止したいときは [いいえ] ボタンをクリックします。



メモ

- ライブラリー表示欄からSDメッセージに登録している音源ファイル（緑文字表示）は削除できません。

◆ 音源ファイル名の変更

音源ファイルリストやライブラリー表示欄にある音源ファイルのファイル名を変更します。
本機能はライブラリー登録画面やSDメッセージ登録画面で操作可能です。

1. 音源ファイルを選択

音源ファイルリストやライブラリー表示欄からファイル名を変更する音源ファイルを選択します。



2. 【ファイル名変更】 ボタンをクリック

ファイル名変更画面が表示されます。



3. ファイル名を入力して、[OK] ボタンをクリック

選択した音源ファイルのファイル名が変更されます。

ファイル名の変更を中止したいときは [キャンセル] ボタンをクリックします。



メモ

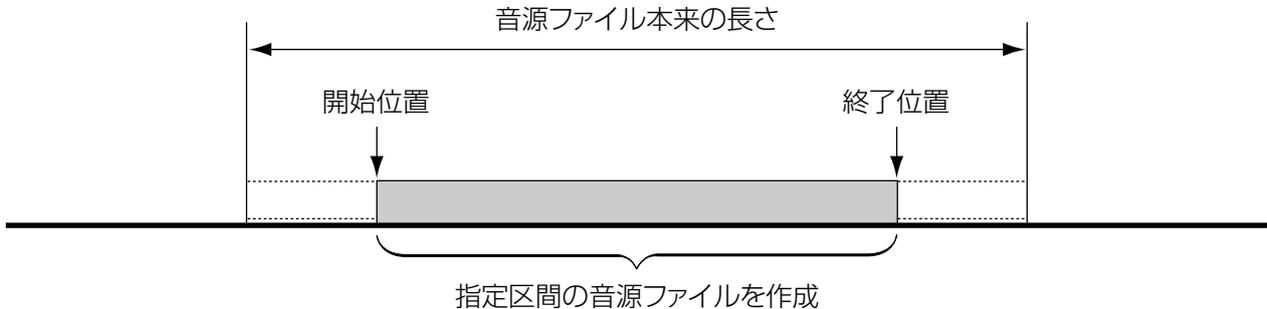
- ライブラリー表示欄からSDメッセージに登録している音源ファイル（緑文字表示）はファイル名変更できません。

音源データ設定

◆ 音源ファイルのトリミング

本体で録音した音源ファイルの開始位置と終了位置を指定し、指定した区間の音声を抜き出して新たに音源ファイルを作成できます。

本機能はライブラリー登録画面やSDメッセージ登録画面で操作可能です。



重要

- トリミングの開始位置、終了位置は必ず、無音箇所を指定してください。音声がある箇所からトリミングすると、作成した音源ファイルにノイズが残ることがあります。

1. 音源ファイルリストやライブラリー表示欄で音源ファイルを選択



2. 【トリミング】 ボタンをクリック

トリミング画面が表示されます。



3. トリミングの開始位置と終了位置を設定

開始位置と終了位置は時、分、秒、0.1秒を設定できます。

トリミング後の音声を確認する場合は、[再生] ボタンをクリックします。



4. ファイル名を入力し、【トリミング】 ボタンをクリック

指定した区間の音源ファイルが作成され、ライブラリーに保存されます。

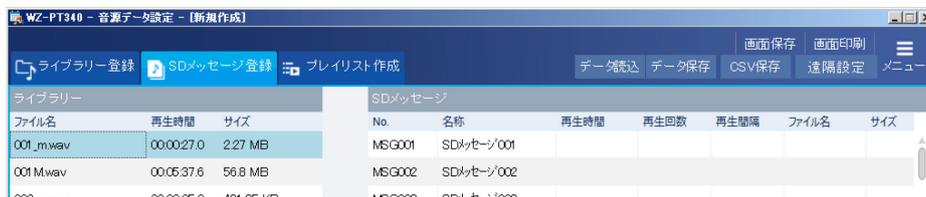
トリミングを実行せずに終了したい場合は [閉じる] ボタンをクリックします。

◆ 音源ファイルのプロパティ表示

音源ファイルのプロパティを表示します。

本機能はライブラリー登録画面やSDメッセージ登録画面で操作可能です。

1. 音源ファイルリストやライブラリー表示欄で音源ファイルを選択



2. 【プロパティ】 ボタンをクリックする

プロパティ画面が表示されます。



音源データ設定

◆ 音源データの試聴

サウンドプレーヤーを起動し、音源ファイルやSDメッセージ、プレイリストを試聴できます。
ここではSDメッセージ登録画面で音源ファイルを試聴する場合を例に説明します。

1. SDメッセージ登録画面で試聴する音源ファイルを選択する



2. [再生] ボタンをクリックする

サウンドプレーヤーが起動され、選択した音源ファイルが再生されます。



メモ

- サウンドプレーヤーで表示される再生時間は、本体で表示される再生時間と異なることがあります。

◆ 遠隔設定

本体とネットワーク接続を行い、本体の音源データを編集、音源ファイルのアップロード/ダウンロードを行うことができます。

[遠隔設定] ボタンを押して本体に接続すると以下のことを行うことができます。

機能	説明
接続	本体に接続し、本体のSDカード内のSDメッセージやプレイリストの設定を表示します。また、本体SDカード内の音源ファイルをダウンロードしたり、本体のSDカードへ音源ファイルをアップロードしたりできます。
切断	本体との接続を切断します。
設定反映	変更したSDメッセージやプレイリストの設定を本体のSDカードに反映します。

重要

- 本体にSDカードが挿入されていないと遠隔設定で接続することはできません。
- サイズが大きいファイルのアップロード・ダウンロードには時間がかかります。サイズの大きいファイルの登録、取得はSDカードを経由して実施してください。
目安 1MB ファイル アップロード : 15 秒
ダウンロード : 2 秒
上記はあくまでも目安です。ご使用の環境によっては上記以上に時間がかかる場合があります。
- 本体で音源再生中に音源ファイルのアップロード・ダウンロードを行うことはできません。

音源データの遠隔設定を行うには以下の手順で本体と接続します。

◇ 本体との接続・切断

1. [遠隔設定] ボタンをクリック

[遠隔設定] ボタンの下にサブメニューが表示されます。



2. サブメニューの[接続]をクリック

本体と接続されます。

切断する場合はサブメニューの [切断] あるいは [メニュー] ボタンをクリックします。

メモ

- 本ソフトウェアを起動してから初めて本体にアクセスするとユーザー認証画面が表示されます。本体へのアクセスを続けるにはユーザー認証画面でユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本体に接続するとタイトルバーに [リモート中] と表示されます。また、SDメッセージ表示欄とプレイリスト表示欄は本体の状態を表示します。



音源データ設定

◇ 設定更新

SD メッセージやプレイリストの設定を変更し、本体に反映します。

1. 本体に接続後、各種設定を変更

「SD メッセージ登録画面」(34 ページ)、「プレイリスト作成画面」(41 ページ) を参考に設定を変更します。

2. [遠隔設定] ボタンをクリック

[遠隔設定] ボタンの下にサブメニューが表示されます。



3. サブメニューの[設定反映]をクリック

本体に編集した設定を反映します。

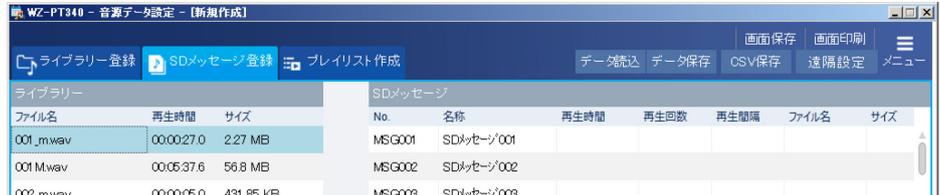
メモ

- 遠隔設定中は音源の再生やエクスポート、トリミングなど各種操作を行うことはできません。

◇ 音源ファイルのアップロード

ライブラリーにある音源ファイルを本体のSDメッセージに登録します。
本操作を行うには [SD メッセージ登録] タブを選択してください。

1. ライブラリー表示欄の音源ファイルを選択



2. SDメッセージ表示欄の登録したい番号にドラッグ&ドロップ

ドロップした番号のSDメッセージに音源ファイルが登録され、音源ファイルの情報が表示されます。



3. SDメッセージ表示欄のスクロールバーを右に移動

[アップロード] ボタンが表示されます。



4. SDメッセージ表示欄でアップロードするSDメッセージの [アップロード] ボタンをクリック

音源ファイルのアップロードが実行されます。



メモ

- すでに音源ファイルが登録されているSDメッセージにアップロードすると音源ファイルは上書きされます。

音源データ設定

◇ 音源ファイルのダウンロード

本体のSDメッセージに登録されている音源ファイルをダウンロードし、ライブラリーに保存します。
本操作を行うには [SDメッセージ登録] タブを選択してください。

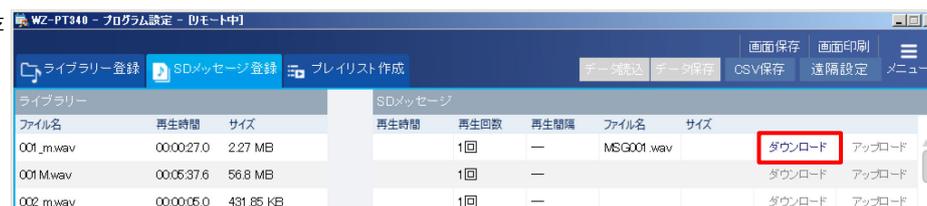
1. SDメッセージ表示欄のスクロールバーを右に移動

[ダウンロード] ボタンが表示されます。



2. SDメッセージ表示欄でダウンロードするSDメッセージの [ダウンロード] ボタンをクリック

ダウンロード 音源ファイル保存画面が表示されます。



3. ファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリック

ライブラリーにダウンロードした音源ファイルが保存されます。

プログラム設定

プログラムの設定

■ プログラムについて

あらかじめ決めた時刻に音源データを再生する、あるいは機器を動作させるために作成するデータをプログラムと呼びます。プログラムは、開始時刻、終了時刻、放送対象または動作対象（ステップ種類）からなるステップを1つの単位として、複数のステップにより構成されます。プログラム作成は、放送または動作させたい時間帯とステップ種類を設定することで行います。

プログラム番号：01				
ステップ番号	開始時刻	終了時刻	ステップ種類	ステップ名称
001	09:00:00	09:03:30	音源データ再生	始業チャイム
002	10:00:00	10:05:20	音源データ再生	開店放送
003	12:00:00	12:00:30	制御出力	正午時報
⋮				
999	xx:xx:xx	xx:xx:xx	電源制御	

プログラム番号：24

- ・ プログラムは1日（24時間）単位で作成します。
- ・ プログラムは最大24個作成・登録できます。
- ・ 1プログラムあたり最大999ステップを登録できます。
- ・ 最大24個のプログラムを曜日にあてはめる「週間スケジュール」や、1年間のカレンダーにあてはめる「年間スケジュール」があります。また、本ソフトウェアを使えば祝日にプログラムをあてはめる祝日スケジュールを作成することができます。
- ・ 「日付変更時刻設定」機能により、プログラムの1日が始まる時刻を任意に設定できます。日付変更時刻の設定については販売店（工事店）にご確認ください。

◇ ステップの種類

プログラムは、以下の4種類のステップを組み合わせて作成します。

音源データ再生

指定時刻に内蔵音源、SDメッセージ、プレイリストを再生する際に使用します。

制御出力

制御出力で他機器を制御する場合に使用します。

出力音量

音声出力のレベルを相対的に制御します。

本体の音声出力端子から出力される音声の音量を変えるときに使用します。

シリアル通信再生

デジタルICレコーダー（WZ-DP320）の再生制御を行うときに使用します。最大で9台までのデジタルICレコーダーを制御できます。

プログラム設定

◇ スケジュールの種類

スケジュールには以下の3種類があり、作成したプログラムはこれらの方法でスケジュールとして設定できます。

年間スケジュール	週間スケジュールとは異なるプログラムを割り当てたい場合は、日付を指定して割り当てます。本ソフトウェアでの設定可能期間は、今日（設定当日）から起算し2050年12月31日までです。
祝日スケジュール	祝日にプログラムを割り当てることができます。 本機能は本ソフトウェア独自の機能です。祝日スケジュールは本体では年間スケジュールとして扱われます。
週間スケジュール	日曜から土曜の各曜日に1つのプログラムを割り当てることができます。設定した週間スケジュールは毎週繰り返し実行されます。

スケジュールが重複して設定されている場合の優先順位は、

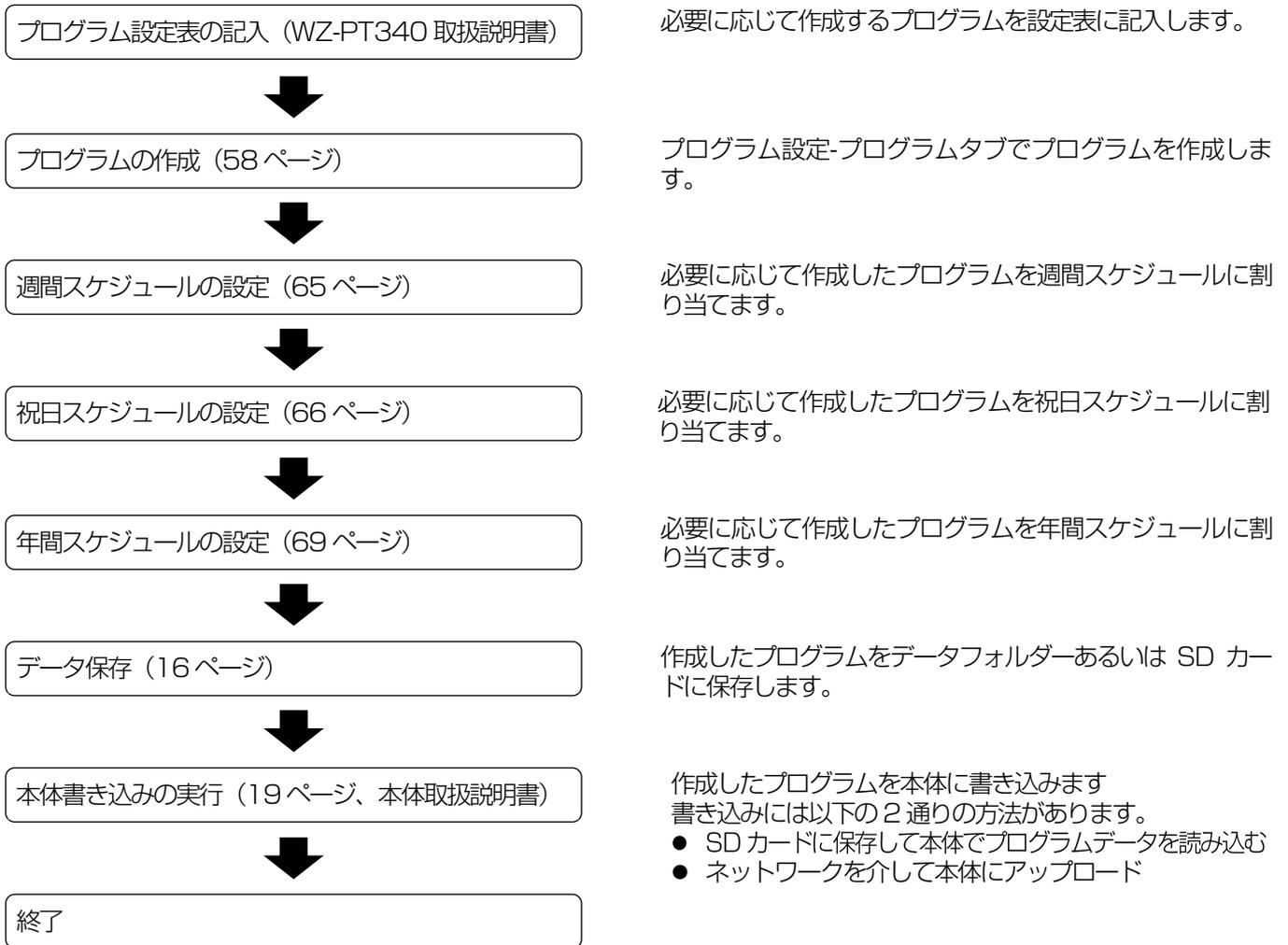
今日のプログラム>年間スケジュールに割り当てられたプログラム>祝日スケジュールに割り当てられたプログラム>週間スケジュールに割り当てられたプログラムの順番となります。

メモ

- 年間スケジュールは、本ソフトウェアでは今日（設定当日）から2050年12月31日まで設定可能ですが、本体側では1年先までのスケジュールしか設定できません。翌年以降のスケジュールを設定する場合は本ソフトウェアでスケジュールを作成し、本体へ反映してください。
-

■ プログラム設定の流れ

プログラムの作成は以下の手順で行います。



必要に応じて作成するプログラムを設定表に記入します。

プログラム設定-プログラムタブでプログラムを作成します。

必要に応じて作成したプログラムを週間スケジュールに割り当てます。

必要に応じて作成したプログラムを祝日スケジュールに割り当てます。

必要に応じて作成したプログラムを年間スケジュールに割り当てます。

作成したプログラムをデータフォルダーあるいは SD カードに保存します。

- 作成したプログラムを本体に書き込みます
書き込みには以下の2通りの方法があります。
- SD カードに保存して本体でプログラムデータを読み込む
 - ネットワークを介して本体にアップロード

各曜日にプログラムD01～D24を1つ割り当てる

1. 週間プログラム作成(曜日ごとに作成)

	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
0:00							
12:00							
23:59							

4. 年間スケジュールの作成

特定のイベント用に、プログラムD01～D24を作成し、月日を割り当てる。

- | | |
|---------------------|--|
| 例：社員研修 D01(5/5～5/6) | } イベントごとに
特定日を作成し、
年間スケジュールで
月日を指定する。 |
| 春物セールD02(4/27～5/5) | |
| 棚卸し D03(毎月 15日) | |
| 夏物セールD04(7/1～7/7) | |

2. カレンダーの曜日に自動割り付け

200X年 4月							5月	6月	3月
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sat	Sat	Sat
	1	2	3	4	5	6			
7	8	9	10	11	12	13			
14	15	16	17	18	19	20			
21	22	23	24	25	26	27			
28	29	30							

5. 本体書き込み実行

SDカードやネットワークを介して本体にプログラムを書き込む。

3. 祝日スケジュールの作成

祝日にプログラムD01～D24を作成し、割り当てる。

- 例：元旦 D15
成人の日 D16

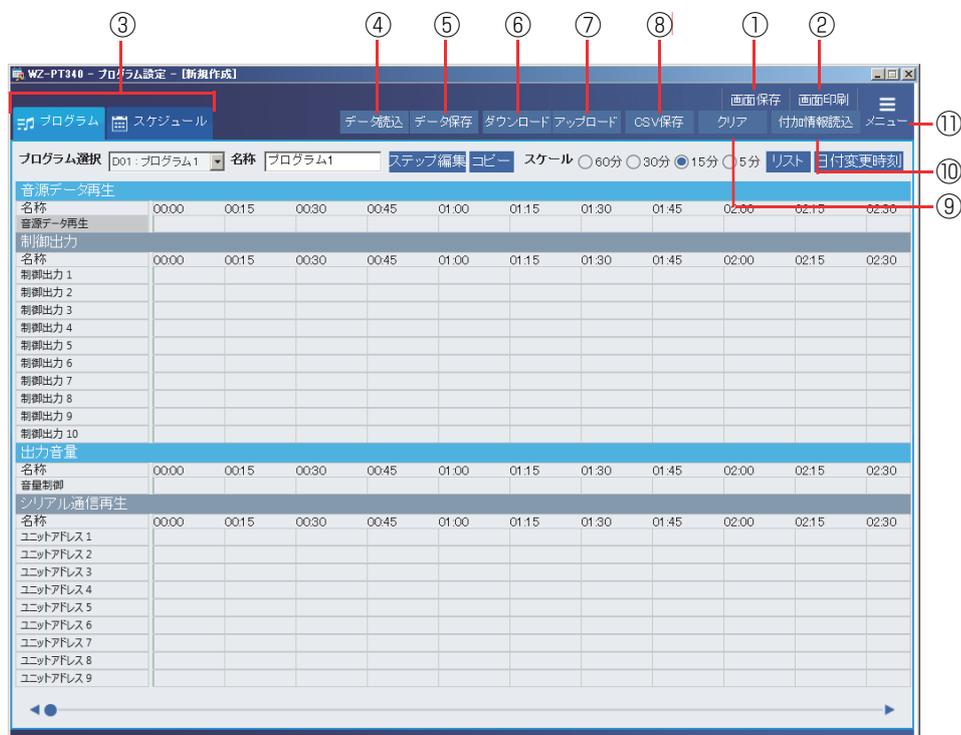
プログラムの変更とスケジュールの変更は、必要に応じて適宜行ってください。

プログラム設定

■ プログラム設定画面について

ここでは、プログラムの編集とスケジュールの設定をします。プログラム編集画面とスケジュール設定画面を総称してプログラム設定画面と言います。

プログラム設定を行うにはメニュー画面で「プログラム設定」ボタンをクリックします。

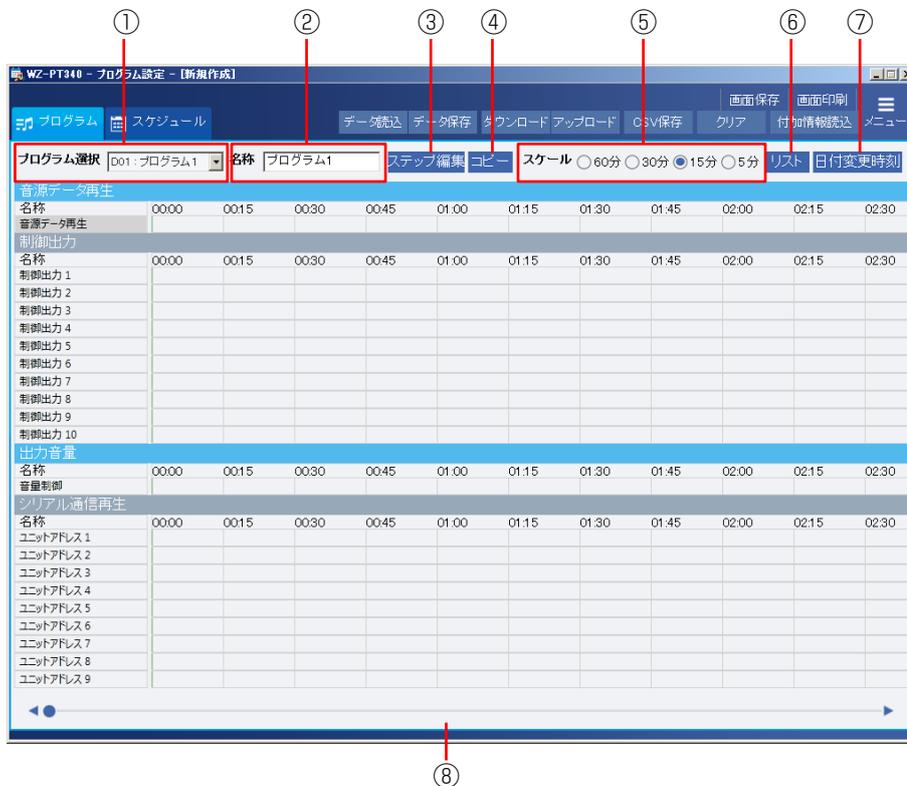


番号	名称	説明
1	画面保存	表示中の画面を画像ファイル(ビットマップ)として保存します。
2	画面印刷	表示中の画面を印刷します。
3	プログラム スケジュール	プログラムの作成・編集などを行うときは [プログラム] タブを、週間スケジュール・年間スケジュールの設定を行うときは [スケジュール] タブを選択します。
4	データ読込	保存されたプログラムデータを読み込みます。
5	データ保存	編集中のプログラムデータを保存します。
6	ダウンロード	ネットワークで接続された本体からプログラムデータを取得します。
7	アップロード	ネットワークで接続された本体にプログラムデータを反映します。
8	CSV 保存	編集中のプログラムデータを CSV 形式で保存します。
9	クリア	設定したプログラムやスケジュールを消去します。消去したデータは元に戻せません。
10	付加情報読込	システム設定データや音源データを読み込み、音源データ再生のステップ登録時に名称や再生時間を表示したり、制御出力の名称に反映したりします。
11	メニュー	メニュー画面に戻ります。

■ プログラム編集画面について

ここでは、プログラムの編集を行います。

プログラムを編集するにはプログラム設定画面で [プログラム] タブをクリックします。



番号	名称	説明
1	プログラム選択	編集するプログラムを選択します。
2	プログラム名称	プログラムの名称を表示・編集します。
3	ステップ編集	選択した制御対象のステップを編集します。
4	コピー	他のプログラムの内容を表示中のプログラムにそのままコピーします。
5	スケール	タイムバー表示の横軸（時間）の目盛り単位を選択します。60分を選択すると全体を大まかに表示することができ、5分を選択すると細かい内容が表示されます。
6	リスト	プログラム編集画面に表示しているプログラムの全ステップを開始時刻の早い順に並べたリストダイアログを表示します。
7	日付変更時刻	日付変更時刻を変更します。
8	プログラム表示領域	1で選択したプログラムの内容が表示されます。

プログラム設定

◆ プログラムの作成

1. 【プログラム】タブを選択



2. 編集するプログラム番号 (1~24) を選択

番号とプログラム名称がコンボボックスに表示されます。

→プログラム表示領域に、選択したプログラムの内容が表示されます。



3. プログラム番号の名称を変更する場合は、【プログラム名称】欄に入力

入力文字数：全角 8 文字

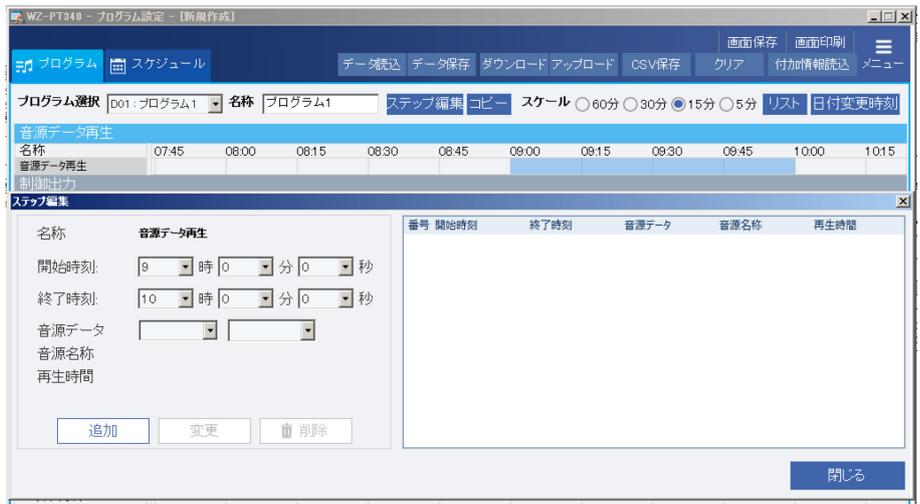
(半角 16 文字)まで



4. 制御開始時刻と制御終了時刻の設定

制御対象のプログラム表示領域において、制御開始時刻でマウスダウンし、そのまま制御終了時刻まで動かしてからマウスアップします。

→ステップ編集画面が表示されます。



メモ

- プログラム表示領域において、制御対象の [名称] 欄をクリックして、[ステップ編集] ボタンをクリックしてもステップ編集画面を表示することができます。
- プログラム表示領域において、制御対象の名称を右クリックするとメニューが表示され、以下の操作を行うことができます。これらはステップが登録されているときのみ使用可能です。

操作	説明
切り取り	選択した制御対象のプログラムを切り取ります。切り取ったプログラムは同種の制御対象に貼り付けすることができます。
コピー	選択した制御対象のプログラムをコピーします。コピーしたプログラムは同種の制御対象に貼り付けすることができます。
貼り付け	切り取り、コピーしたプログラムを選択した制御対象に貼り付けます。
削除	選択した制御対象のプログラムを一括削除します。

◆ ステップ編集のしかた

名称表示欄には、選択した放送対象、動作対象の名称が表示されていることをご確認ください。
ステップ一覧には、既存のステップが時刻の早い順に表示されています。

1. ステップの開始時刻を入力

時・分・秒をコンボボックスからそれぞれ選択します。

2. ステップの終了時刻を入力

開始時刻より 1 秒以上遅い時刻を入力します。

終了時刻を開始時刻と同じ時刻に設定すると、日付変更時刻から 24 時間のステップとして扱われます。

3. 制御内容を設定

対象	制御内容	説明
音源データ再生	内蔵音源 : ORG1~8 SD メッセージ : MSG001~255 プレイリスト : LIST01~50	本体で再生する音源データを指定します
制御出力	—	ステップ編集する制御出力はプログラム作成画面で指定します。
音量制御	出力音量 : -5dB/-10dB/-20dB/-30dB/	本体音声レベルの相対減衰量を指定します。
シリアル通信再生	内蔵音源 : ORG1~8 SD メッセージ : MSG001~255 プレイリスト : LIST01~50	本体に接続されている WZ-DP320 で再生する音源データを指定します。

メモ

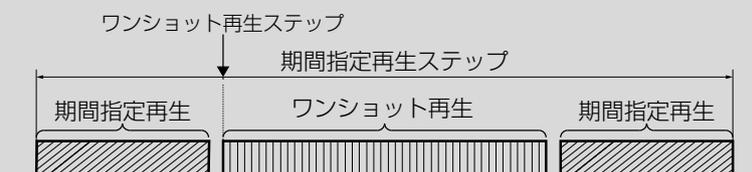
- [付加情報読込] で音源データやシステム設定データを読み込むと以下の情報を表示することができます。

音源データ : 選択した音源の名称や再生時間

システム設定データ : 各制御出力の名称

重要

- 「音源データ再生」や「シリアル通信再生」のステップを編集する場合は以下の点に留意してください。
 - 開始時刻と終了時刻を入力した場合は、開始時刻と終了時刻の間、指定した音源データが繰り返し再生されます。(期間指定再生)
 - 終了時間を「-:-:-」に指定した場合は、開始時刻に指定した音源データが 1 回のみ再生されます。(ワンショット再生)
 - 音源データ再生のプログラムでは期間指定再生のステップとワンショット再生のステップは重複して設定することができます。この場合、期間指定再生で再生している音源データを停止し、ワンショット再生を行います。そのあと、ワンショット再生が終了すると期間指定再生の音源データを最初から再生します。割り込み放送としてご使用ください。



プログラム設定

メモ

- 「シリアル通信再生」のステップ編集については必ず接続する WZ-DP320 の背面にあるディップスイッチの状態と設定を合わせてください。設定を誤ると正しく再生されません。

	再生指定	期間指定再生	ワンショット再生
ディップスイッチ(WZ-DP320)			
アナウンスモード		×	○
BGM モード		○	×

4. 新たにステップを追加する場合は、[追加] ボタンをクリック

→設定した開始時刻と終了時刻で、新しいステップがステップ一覧とプログラム表示領域に追加されます。

5. 既存のステップの内容を変更したい場合は、ステップ一覧で対象のステップを選択し、手順 1～3 を行って [変更] ボタンをクリック

→選択したステップの内容が更新されて、ステップ一覧とプログラム表示領域に表示されます。

6. 既存のステップを削除したい場合は、ステップ一覧で対象のステップを選択し、[削除] ボタンをクリック

→選択したステップがステップ一覧とプログラム表示領域から削除されます。

7. [閉じる] ボタンをクリックし、本ダイアログを閉じる

プログラム表示領域に登録したステップが表示されます。

重要

- ステップの設定は以下の条件を満たす必要があります。
 - 終了時刻は必ず開始時刻よりあとに設定する。
 - 同一制御対象のステップを重複した時間帯に設定しない。
 - 日付変更時刻をまたぐステップは作成しない。
 - 1つのプログラムは最大 999 ステップまでの登録とする。

メモ

- プログラム表示領域に表示されたステップにマウスカーソルを合わせるとツールチップが表示され、ステップの情報を確認することができます。

◆ ステップのリスト表示

プログラム編集画面で [リスト] をクリックすると、「ステップリスト」が表示され、現在プログラム編集画面に表示しているプログラムの全ステップが、時刻順に整列された形で一覧できます。

- 「音源データ再生」、「制御出力」、「出力音量」、「シリアル通信再生」欄は、設定されたステップの種類に「●」が表示されます。
- 開始時刻が同じステップは、終了時刻の早い順に整列されます。
- 「制御先名称」欄には、制御対象の名称が表示されます。
- 音源データおよび再生時間は [付加情報読込] で音源データを読み込むと表示されます。(内蔵音源は読み込まなくても表示されます。)
- 出力音量のステップは、音量設定値が表示されます。
- ダイアログを閉じるには、[閉じる] をクリックします。

開始時刻	終了時刻	音源データ再生	制御出力	出力音量	シリアル通信再生	制御先名称	音源データ	音源名称	再生時間	出力音量
09:00:00		●				音源データ再生	ORG1	ウエストミンスターの鐘	00:00:27.0	
10:00:00	12:00:00	●				音源データ再生	MSG001	SDメッセージ001	00:00:27.0	
09:00:00	17:30:00		●			制御出力 1				
17:45:00	23:00:00			●		音量制御				-10dB

総ステップ数: (最大999ステップ)

閉じる

◆ プログラムのコピー

既存のプログラムを、現在表示している画面 (選択したプログラム番号) にコピーします。コピーはすべて上書きです。

1. プログラム編集画面で [コピー] ボタンをクリック

プログラムコピー画面が表示されます。



2. コピーしたいプログラム番号をコンボボックスから選択し、[OK] ボタンをクリック

プログラムコピー確認画面が表示されます。



3. [はい] ボタンをクリック

確認画面が閉じ、コピーされた内容がプログラム表示領域に表示されます。

プログラム設定

◆ 日付変更時刻

プログラムの1日が始まる時刻を任意に設定します。

1. プログラム編集画面で【日付変更時刻】ボタンをクリックします。

日付変更時刻設定画面が表示されます。



2. 時・分・秒をそれぞれ設定します。



3. [OK] ボタンをクリックします。

日付変更時刻が変更されます。



メモ

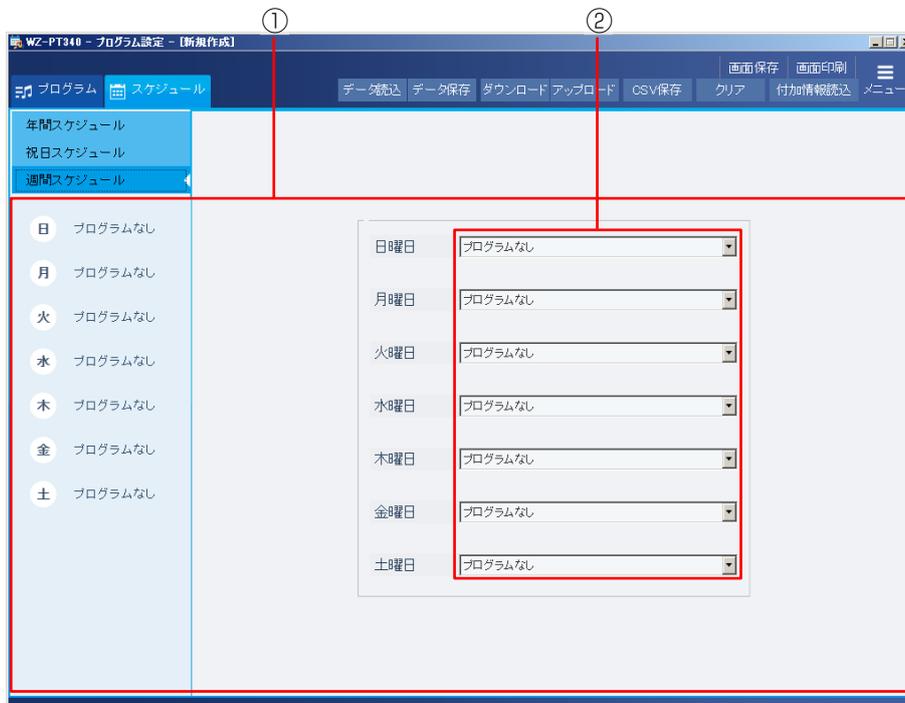
- プログラムを設定済みの状態で日付変更時刻を変更する場合は、変更後にプログラムが期待通りの動作であることを確認してください。
- 日付変更時刻を変更するとプログラム表示領域では選択したスケールに応じて、日付変更時刻近辺からプログラム表示されます。プログラム表示領域では日付変更時刻は緑色の線で表示されます。

■ 週間スケジュール編集画面について

作成したプログラムを日曜～土曜の曜日単位で実行するよう割り当てたものを、週間スケジュールと言います。

週間スケジュールを設定すると、毎週同じ曜日に指定したプログラムを実行します。

週間スケジュールを編集するにはプログラム設定画面で [スケジュール] タブをクリックし、[週間スケジュール] タブをクリックします。



番号	名称	説明
1	週間スケジュール表示領域	現在設定されている週間スケジュールが表示されます。
2	プログラム選択	各曜日にプログラムを割り当てます。

◆ 週間スケジュールの設定

1. プログラム選択コンボボックスで各曜日に割り当てるプログラム番号を選択

「プログラム一覧」にプログラム編集画面で作成済みのプログラム名称が表示されているので、設定の参考にします。プログラムを実行しない（定休日など）場合は、[プログラムなし] を選択します。

◆ 祝日の追加・編集

祝日の追加、あるいは選択した祝日の編集を行います。
祝日を追加する例をもとに説明します。

1. 祝日スケジュール編集画面で [追加] ボタンをクリック

祝日の追加・編集画面が表示されます。

既存の祝日を編集する場合は祝日表示領域で
任意の祝日を選択し、[編集] ボタンをクリッ
クします。



2. 祝日名称を入力

入力できる文字は全角 8 文字・半角 16 文字までです。

3. 祝日の指定方法を選択し、指定方法に応じた日にちを設定

指定方法	説明
月日指定	月日を指定して祝日を設定します。開始日に祝日とする月日を設定します。 例) 11/26
期間指定	期間を指定して祝日を設定します。祝日の開始日と終了日に月日を設定します。 例) 8/8-8/16
曜日指定	曜日を指定して祝日を設定します。祝日の月、週、曜日を設定します。 例) 5月第3木曜日

重要

- 期間指定では年をまたいで期間を指定することはできません。

4. 適用年を設定します。

単年 : 追加・編集した祝日を表示中の年のみに適用します。

毎年 : 追加・編集した祝日を毎年に適用します。

メモ

- 「毎年」を選択した場合、過去を含めて他の年に設定されている祝日と重複する日付に祝日を追加・編集することはできません。

5. [設定] ボタンをクリックします。

祝日の追加・編集画面が閉じ、祝日表示領域に反映されます。

プログラム設定

◆ 祝日の削除

選択した祝日を削除します。

1. 祝日スケジュール編集画面で [削除] ボタンをクリック

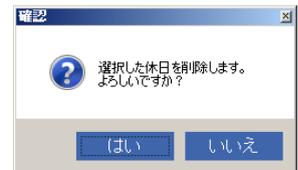
削除確認画面が表示されます。



日付	祝日名称	種別	適用年	プログラム
2015/11/23	勤労感謝の日	月日指定	毎年	週間プログラム
2015/12/23	天皇誕生日	月日指定	毎年	週間プログラム

2. [はい] を選択

選択した祝日が削除されます。



重要

- 削除した祝日はもとに戻すことはできません。

◆ 祝日スケジュールの設定

選択した祝日にプログラムを割り当てます。

1. 祝日スケジュール編集画面で設定する祝日のプログラム欄をダブルクリック



年間スケジュール	日付	祝日名称	種別	適用年	プログラム
祝日スケジュール	2015/01/01	元日	月日指定	毎年	週間プログラム
週間スケジュール	2015/01/12	成人の日	曜日指定	毎年	週間プログラム
日	2015/02/11	建国記念の日	月日指定	毎年	プログラム1 プログラム2 プログラム3 プログラム4
	2015/03/21	春分の日	月日指定	単年	週間プログラム

2. 割り当てるプログラムを選択

「プログラムなし」は選択した祝日にプログラムは実行しません。

「週間プログラム」は祝日の曜日に割り当てられた週間スケジュールにしたがってプログラムが割り当てられます。



年間スケジュール	日付	祝日名称	種別	適用年	プログラム
祝日スケジュール	2015/01/01	元日	月日指定	毎年	プログラム4
週間スケジュール	2015/01/12	成人の日	曜日指定	毎年	週間プログラム
日	2015/02/11	建国記念の日	月日指定	毎年	週間プログラム
	2015/03/21	春分の日	月日指定	単年	週間プログラム

重要

- 祝日へのプログラム割り当ては表示している年のみに反映されます。翌年以降も同じ祝日にプログラムを割り当てる場合は、祝日を表示する年を切り替えてから個別にプログラムを割り当ててください。

メモ

- 本ソフトウェアでは2050年まで祝日スケジュールの設定を行うことができます。

■ 年間スケジュール編集画面について

作成したプログラムを年間スケジュールに割り当てます。

年間スケジュールを編集するにはプログラム設定画面で [スケジュール] タブをクリックし、[年間スケジュール] タブをクリックします。



番号	名称	説明
1	前の6ヶ月	表示中のカレンダーから6ヶ月前のカレンダーを表示します。
2	年選択	カレンダーを表示する年を選択します。選択した年のカレンダーが表示されます。
3	今月	今月のカレンダーを表示します。
4	次の6ヶ月	表示中のカレンダーから6ヶ月次のカレンダーを表示します。
5	カレンダー表示領域	カレンダーを表示します。日を選択して年間スケジュールを設定します。

メモ

- カレンダーの各日は設定したスケジュールの種類によって背景色が変わります。
 - : 年間スケジュール
 - : 祝日スケジュール
 - : 週間スケジュール
 - : スケジュール設定なし
- スケジュールの優先順位は年間スケジュール>祝日スケジュール>週間スケジュールです。同日に重複してスケジュール設定されている場合は優先順位にしたがって背景色が表示されます。
- カレンダーにマウスを合わせると割り当てられたスケジュールの情報がツールチップで表示されます。

プログラム設定

◆ 年間スケジュールの設定

1. カレンダー表示領域で年間スケジュールを設定する月日をクリック
年間スケジュール設定画面が表示されます。

プログラム

開始日 2016/06/06

終了日 2016/06/10

曜日 日 月 火 水 木 金 土

祝日にも反映する

設定 削除 キャンセル

メモ

- マウスで範囲選択（開始日を指定してマウスダウンし、終了日まで動かしてからマウスアップ）すると期間を指定して年間スケジュールを設定できます。ただし、月をまたいで範囲選択することはできません。

2. 実行するプログラムを選択

プログラム

開始日

3. 必要に応じて開始日と終了日を設定

プログラム

開始日 2016/06/13

終了日

曜日 日 月 火 水 木 金 土

4. プログラムを適用する曜日を選択

曜日 日 月 火 水 木 金 土

5. 3 で設定した期間に祝日が含まれる場合に 2 で選択したプログラムを割り当てる場合は「祝日にも反映する」にチェックを入れる

祝日にも反映する

6. [設定] ボタンをクリック

年間スケジュール設定画面が閉じ、カレンダー表示領域に反映されます。

◆ 年間スケジュールの削除

1. 「年間スケジュールの設定」の1、3の手順と同様に年間スケジュールから削除する日を選択

削除の日を選択

曜日のチェックボックスで削除を反映する曜日を選択することができます。

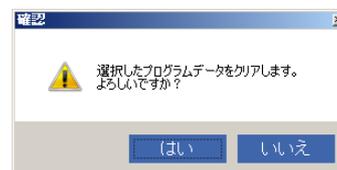
プログラム	<input type="text"/>	
開始日	2016/06/06	
終了日	2016/06/10	
曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土	
	<input type="checkbox"/> 祝日にも反映する	
設定	削除	キャンセル

2. [削除] ボタンをクリック

削除確認画面が表示されます。

3. [はい] ボタンをクリック

削除確認画面が閉じ、カレンダー表示領域に反映されます。



プログラム設定

■ プログラム・スケジュールのクリア

設定したプログラムやスケジュールを消去します。消去したデータは元に戻せません。

1. プログラム設定画面で [クリア] ボタンをクリック

プログラムデータ クリア選択ダイアログが表示されます。



2. 消去したい項目にチェック

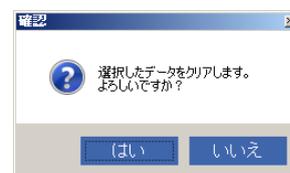


メモ

- 各グループの先頭の項目をチェックすると、そのグループ全部にチェックが入ります。
- 選択を解除するには、チェックボックスを再度クリックしてチェックをはずします。

3. [OK] ボタンをクリック

クリア確認画面が表示されます。



4. [はい] ボタンをクリック

ダイアログが閉じ、選択した項目の内容が消去されます。

ネットワーク接続

ネットワーク接続について

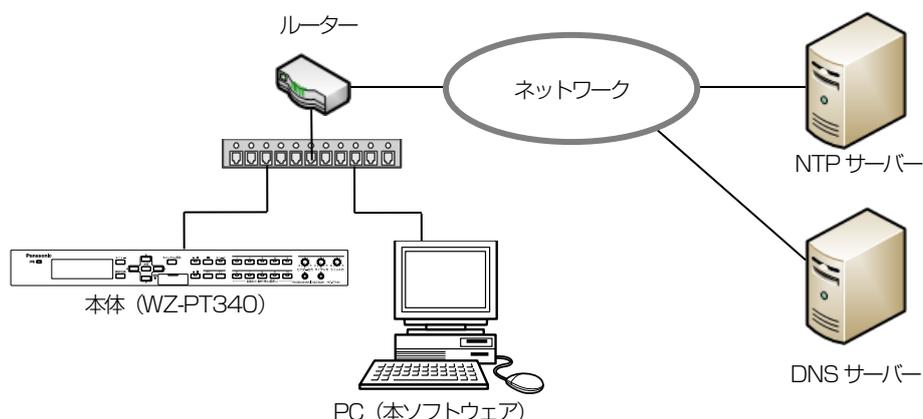
本ソフトウェアを本体とネットワーク接続することで設定データのアップロード、ダウンロードなどを行うことができます。

■ ネットワーク接続でできること

本ソフトウェアをネットワークに接続することで以下のことを行うことができます。

内容	説明	参照ページ
ネットワーク設定	本体の IP アドレス設定、DNS サーバー設定、NTP サーバー設定、ユーザー認証等のネットワークに関する設定を行います。	75
リモート制御	本ソフトウェアから音源データの再生制御、実行中プログラムの差し換えを行うことができます。	51、81
状態確認	本ソフトウェアから音源データの再生状態、プログラム実行状態を確認することができます。	81
設定データのアップロード/ダウンロード	本ソフトウェアからシステム設定データ、プログラムデータをアップロード/ダウンロードすることができます。	19
音源ファイルのアップロード/ダウンロード	本ソフトウェアから本体の SD カードに保存されている音源ファイルをアップロード/ダウンロードすることができます。	53

接続例



メモ

- 外部の NTP サーバーに接続する場合はルーターでポートフォワーディングの設定が必要です。詳細はネットワーク管理者にお問合せください
- ネットワーク設定を変更したら、必ず接続先 IP アドレスおよびポート番号の設定を変更してください。

ネットワーク接続先を設定する

■ ネットワーク接続先の設定

本ソフトウェアがネットワークで接続する本体の情報を設定します。

設定を行うにはメニュー画面で「ネットワーク接続設定」ボタンをクリックします。



◆ 接続先 | IPアドレスとポート番号の設定

1. 接続する本体のIPアドレスを設定

初期値 192.168.0.60

2. 接続する本体のポート番号を設定

初期値 61000

3. **【実行】** ボタンをクリックし、本体との接続確認

接続確認が成功すると完了ダイアログが表示されます。

タイムアウトが発生した場合は本体との接続やIPアドレス、ポート番号を確認してください。

4. **【設定】** ボタンをクリック

接続先情報が保存されます。

以降、本体にネットワークアクセスする場合は、本画面で設定したIPアドレス、ポート番号の本体に接続します。

メモ

- 本体のIPアドレス、ポート番号は「機器ネットワーク設定」画面から行うことができます。(75 ページ)
ネットワーク設定を変更したら、必ず本画面で接続先IPアドレスおよびポート番号の設定を変更してください。

機器ネットワーク設定を行う

ネットワークを介して本体のネットワーク設定を行います。

設定を行うにはメニュー画面で「機器ネットワーク設定」ボタンをクリックします。

タブで設定する項目を切り換えます。

タブ	内容	参照ページ
ネットワーク	本体のネットワーク設定、DNS サーバー設定、TCP/IP 設定を行います。	75
NTP	時刻補正で使用する NTP サーバーの設定を行います。	78
ユーザー認証	本体にアクセスする際のユーザー名とパスワードの設定を行います。	79
バージョン情報	本体のソフトウェアバージョンを確認します。	80

■ 機器ネットワークの設定

本体のネットワーク設定を行うには [ネットワーク] タブを選択します。



番号	内容	説明
1	MACアドレス	本体の MAC アドレスを表示します。
2	ネットワーク設定	本体のネットワーク設定を行います。
3	DNS サーバー設定	本体の DNS サーバー設定を行います。
4	TCP/IP 設定	本ソフトウェアと通信するときの本体側ポート番号の設定を行います。

ネットワーク接続

◆ ネットワーク設定

1. DHCP の設定

DHCP 機能を使用する、しないを設定します。

ON DHCP を使用します。

DHCP 機能を使用して IP アドレスを設定します。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは入力不要です。

OFF IP アドレスを手動で設定します。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

初期設定 OFF

2. IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力

初期設定 IP アドレス : 192.168.0.60

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 192.168.0.1

3. 通信速度を設定

ネットワークの通信速度を指定します。通信速度は以下から選択します。

Auto 通信速度が自動設定されます

100M-Full 100Mbps 全二重

100M-Half 100Mbps 半二重

10M-Full 10Mbps 全二重

10M-Half 10Mbps 半二重

初期設定 Auto

4. [設定] ボタンをクリック

ネットワークの設定を本体に反映します。

重要

- ネットワーク設定を変更すると本体は自動的に再起動します。本体に接続する場合は 1 分以上時間を取ってから実行してください。

◆ DNS サーバー設定

1. DNS サーバーのIPアドレス自動取得設定

DNS サーバーのIPアドレス自動取得設定は以下から選択します。

- | | |
|--------|--|
| Auto | DNS サーバーのアドレスをDHCPサーバーから取得します。プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーの設定は不要です。 |
| Manual | DNS サーバーのアドレスを手動で設定します
「Manual」に設定した場合、DNS の設定を行う必要があります。 |

初期設定 Manual

2. DNS サーバーのIPアドレス設定

「DNS」を「Manual」で使用する場合、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

初期設定 : なし (空欄)

3. 「設定」ボタンをクリック

DNSサーバーの設定を本体に反映します。

◆ TCP/IP 設定

本体とのネットワーク通信を行うためのポート番号を設定します。

1. ポート番号を設定

初期設定 61000

重要

- 以下のポート番号は、設定できません。(ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く)
20,21,23, 25,42,53, 67,68,69, 80, 110,123, 161,162 ,443,995
- TCP/IP 設定を変更するとしばらく本体には接続できません。本体に接続する場合は1分以上時間を取ってから実行してください。

2. 「設定」ボタンをクリック

ポート番号の設定を本体に反映します。

ネットワーク接続

■ NTP サーバーの設定

NTP サーバーの設定を行うには [NTP] タブを選択します。



番号	内容	説明
1	NTP サーバー設定	本体がアクセスするNTP サーバーの設定を行います。

◆ NTP サーバー設定

本体が時刻補正時に接続するNTP サーバーの設定を行います。

時刻補正の補正手段をNTPに設定する場合は必ず、NTP サーバーの設定を行ってください。

1. NTP サーバーのアドレスを設定します。

NTP サーバーアドレスはIP アドレスあるいはドメイン名で指定することができます。

初期値 なし（空欄）

重要

- ドメイン名で指定する場合は必ずDNS サーバーの設定を行ってください。

2. NTP サーバーのポート番号を入力

初期設定 123

重要

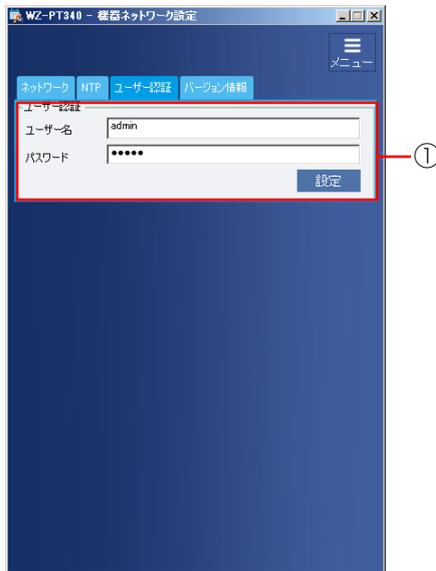
- 以下のポート番号は、設定できません。（ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く）
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 123, 161, 162, 443, 995

3. [設定] ボタンをクリック

ポート番号の設定を本体に反映します。

■ ユーザー認証の設定

ユーザー認証の設定を行うには [ユーザー認証] タブを選択します。



番号	内容	説明
1	ユーザー認証	ユーザー認証の設定を行います。

◆ ユーザー認証設定

本ソフトウェアが本体に接続する際に使用するユーザー名とパスワードの設定を行います。

1. ユーザー名を設定

現在のユーザー ID が表示されます。ユーザー ID を変更する場合は新しいユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 4 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英数字、右記の半角記号 !#\$%&'()*=+,-./:;<>?_`{|}~@*.,;+¥

初期設定 admin

2. パスワードを設定します。

新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 0 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英数字、右記の半角記号 !#\$%&'()*=+,-./:;<>?_`{|}~@*.,;+¥

初期設定 12345

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名やパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- ユーザー名やパスワードが第三者に漏洩した場合、不正にアクセスされる場合があります。ユーザー名やパスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。
- 数字、記号、大文字、小文字を組み合わせると第三者に推測されにくくなります。
- ユーザー認証の設定を変更するとしばらく本体には接続できません。本体に接続する場合は 1 分以上時間を取ってから実行してください。

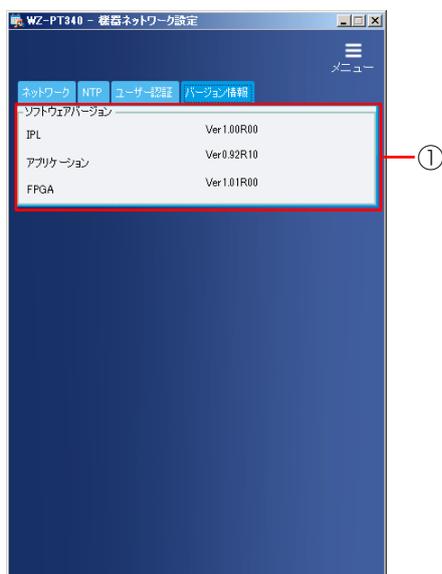
3. [設定] ボタンをクリックします。

ユーザー認証の設定を本体に反映します。

ネットワーク接続

■ バージョン情報の確認

本体から取得したバージョン情報を表示します。



番号	内容	説明
1	ソフトウェアバージョン	本体の各ソフトウェアのバージョンを表示します。

リモート制御

ネットワーク接続された本体の状態確認や制御を行うことができます。
 制御を行うにはメニュー画面で「リモート制御」ボタンをクリックします。



番号	名称	説明
1	更新	本体から状態を取得し、画面に反映します。
2	音源データ・状態	本体の音源再生状態を表示します。表示される状態は以下の通りです。 再生中：本体で音源を再生している状態を表し、再生中の音源を表示します。 停止中：本体で音源を再生していない状態を表します。
3	音源データ・停止	再生中の音源を停止します。
4	音源データ・再生制御	再生制御を行う音源を選択します。
5	音源データ・再生	音源選択コンボボックスで選択した音源を再生します。
6	出力音量・現在の音量値	本体の音声出力の音量値を表示します。実行中のプログラムで出力音量制御を行っている場合は減衰量が()内に表示されます。
7	出力音量・出力音量制御	出力音量を選択します。
8	出力音量・設定	出力音量コンボボックスで選択した音量を本体に設定します。
9	プログラム・状態	本体のプログラム実行状態を表示します。 実行中：本体でプログラムを実行している状態を表し、実行中のプログラムを表示します。 停止中：本体でプログラムを停止している状態を表します。
10	プログラム・実行切り換え ON	本体のプログラム実行状態を ON に切り換えます。
11	プログラム・実行切り換え OFF	本体のプログラム実行状態を OFF に切り換えます。
12	プログラム差し換え	差し換えるプログラムを選択します。
13	プログラム・実行	本体で実行中のプログラムをプログラム差し換えコンボボックスで選択したプログラムに切り換えます。
14	今日のプログラム・編集	今日のプログラムを編集します。

ネットワーク接続

■ リモート制御でできること

リモート制御では以下のことを行うことができます。

音源データ	
再生状態確認	本体の再生状態を確認できます。最新の状態を表示するには [更新] ボタンをクリックします。
再生・停止制御	音源を指定して [再生] ボタンをクリックすれば本体で再生することができます。また、再生中の音源を停止することができます。
出力音量	
出力音量確認	本体の音量設定を確認できます。最新の状態を表示するには [更新] ボタンをクリックします。
出力音量制御	音量値を選択して [設定] ボタンをクリックすれば、本体の音量設定を変更することができます。
プログラム	
実行状態確認	本体で実行しているプログラムの状態を確認できます。
実行切り換え制御	本体のプログラム実行状態を切り換えることができます。
プログラム差し換え	現在実行中の他のプログラムにプログラムを差し換えることができます。
今日のプログラム編集	今日のプログラムを編集し、本体に反映することができます。

重要

- リモート制御中は状態表示の不一致が発生する可能性があるため、本体の前面パネルを操作しないでください。
- 本体で再生中にリモート制御画面に遷移すると音途切れが発生することがあります、ご注意ください。

◆ 音源の再生・停止制御

本体の音源を再生/停止します。

本ソフトウェアから再生制御を行ったときは 1 回のみ音源を再生します。

1. 音源選択コンボボックスで再生する音源を選択



2. [再生] ボタンをクリック

音源データ状態表示が更新され、本体で選択した音源を再生します。



3. 音源再生を停止する場合は [停止] ボタンをクリック

音源データ状態表示が更新され、本体で音源の再生が停止します。



◆ 出力音量制御

本体の音声出力の音量を調整します。

1. 出力音量制御コンボボックスで音量値を選択

設定範囲 0~50

メモ

- 現在の音量値に () で-5dB/-10dB/-20dB/-30dBのいずれかが表示される場合はプログラムにより、出力音量が制御されていることを表しています。



2. [設定] ボタンをクリック

出力音量表示が更新され、本体の出力音量が変更されます。



ネットワーク接続

◆ プログラム制御

プログラムの実行状態の切り換え、プログラムの差し換え、今日のプログラム編集を行うことができます。

◇ 実行状態の切り換え

本体のプログラム実行状態を切り換えます。

7. [ON] ボタンまたは [OFF] ボタンをクリック

プログラム実行状態表示が更新され、プログラム実行状態が切り換わります。



◇ プログラムの差し換え

今日のプログラムを他のプログラムに差し換えます。

1. 差し換えるプログラムを選択



2. [実行] ボタンをクリック

1.で選択したプログラムに差し換わります。



重要

- プログラム実行が「停止中」の状態でもプログラムを差し換えても、プログラムは実行状態になりません。プログラムを動作させるには「◇ 実行状態の切り換え」でプログラムの実行を ON にしてください。
- 本体で音源再生中は実行状態切り換えを行うことはできません。

◇ 今日のプログラム編集

今日のプログラムを編集し、変更内容を本体に反映します。

1. [編集] ボタンをクリック

今日のプログラム編集画面が表示されます。

2. プログラムを編集

プログラム編集画面について (59 ページ) を参考に本日のプログラムを編集します。

3. [アップロード] ボタンをクリック

編集した内容を本体に反映します。

編集をキャンセルする場合は [閉じる] ボタンをクリックします。

重要

- プログラム実行が「停止中」の状態でも今日のプログラムを編集しても、プログラムは実行状態になりません。プログラムを動作させるには「◇ 実行状態の切り換え」でプログラムの実行を ON にしてください。
- 本体で音源再生中は今日のプログラム編集を行うことはできません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因・対策	参照ページ
各種データを保存できない	<ul style="list-style-type: none"> ● データフォルダーやSDカードの設定を行っていますか？ →環境設定画面で設定を確認してください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> ● 保存先ドライブやフォルダーが書き込み保護設定になっていませんか？ →保存先ドライブの空き容量が十分であるか確認してください。 	—
ネットワーク経由で本体と接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のLANコネクタ [10/100BASE-T] にケーブルが接続されていますか？ →本体との接続を確認してください。 	本体取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● リンクランプは点灯していますか？ランプは点灯していますか？ →点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 	本体取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の電源は入っていますか？ →本体の電源が入っているかを確認してください。 	本体取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● 間違ったIPアドレスおよびポート番号にアクセスしていませんか？ →正しいIPアドレスとポート番号でアクセスしてください。「ネットワーク接続設定」で本体との接続確認を行うことができます。 	74
本体でNTPによる時刻補正ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のIPアドレスが他機と重複していませんか？ →本体のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを確認してください。 	本体取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● サーバーの設定は正しいですか？ →NTPサーバーやDNSサーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を確認してください。 	77、78
SDメッセージに音源ファイルを登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音源ファイル形式が違いますか？ →音源ファイルがメッセージに登録可能な形式であることを確認してください。 	33
再生している音源が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカー接続されていますか？ →スピーカー接続されていることを確認してください。 ● PCのボリューム設定が適切ですか？ →PCのボリューム設定が適切か確認してください。 	—
データを保存できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 保存先の空き容量は十分ですか？ →保存先の空き容量を十分確保してください。 ● 保存先がライトプロテクトされていませんか？ →SDカードに保存する場合、ロックスイッチがOFFになっていることを確認してください。 	—

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）
※携帯電話からのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号